

## 第2章 教育課程・指導計画・接続期カリキュラム(試案)

### 教育目標

一人一人の幼児が自分なりの力を発揮し、  
友達とかかわり合いながら生きる力をやしなう

### 目指す子ども像

- ・いきいきとあかるいこども
- ・よくみ、よく考えるこども
- ・自分からすすんでものごとをすることこども
- ・豊かな美しい心をもつこども
- ・友だちとなかよく遊ぶこども

## 教育課程

3 歳児.....	14
3 年保育 4 歳児.....	15
2 年保育 4 歳児.....	16
5 歳児.....	17

教育課程（3年保育3歳児）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	I II											
発達の プロセス	<p>教師と触れ合ったり、好きな遊びをしたりしながら、幼稚園生活に親しみ安定していく時期</p> <p>周囲の人や身近な環境への興味や関心を広めながら、生活する楽しさを知っていく時期</p>											
自分づくり	<p>○興味関心のあるものや人と関わろうとする</p> <p>○関わりを通して人や身近な環境を知覚する</p>											
人との 関わり	<p>○遊びを見る</p> <p>○まねて遊ぶ</p> <p>○身近な環境に気付く</p> <p>○身近な環境に触れ親しむ</p>											
身近な環境 との関わり	<p>○身近な環境に気付き</p> <p>○身近な環境に触れ親しむ</p>											
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>手伝ってもらったり、教えてもらったりしながら園生活に慣れ、安心して過ごす</li> <li>教師や友達に親しみ、触れ合いながら遊ぶことを楽しむ</li> <li>身近な自然や動植物に関心をもつ</li> <li>生活の仕方がわかり、自分なりに自信をもって生活をすすめていこうとする</li> <li>教師や友達と一緒にいろいろな遊びを楽しむ</li> <li>身近な自然に興味をもち、関わろうとする</li> </ul>											
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気に登園する</li> <li>教師や友達と触れ合いながら安心して生活する</li> <li>身の回りの始末や生活の仕方がわかり、自分なりにしようとする</li> <li>気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ</li> <li>教師や友達と一緒に過ごすことを楽しむ</li> <li>友達存在に気づき、名前を覚えたり、一緒に遊んだりする</li> <li>してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする</li> <li>園庭の自然物（砂や水など）に触れ親しむ</li> <li>身近な生き物や草花を見たり、触れたりしながら親しみを感ずる</li> <li>自分でできることを自分からしようとする</li> <li>自分のイメージしたものや好きなものになりきってごっこ遊びを楽しむ</li> <li>教師や友達と触れ合ったり、一緒に遊んだりすることを楽しむ</li> <li>教師や友達と体を動かす集団遊びを楽しむ</li> <li>教師や友達と一緒に遊ぶ中で言葉のやりとりを楽しんだり、思いを伝えようとしたりする</li> <li>身近な遊具や用具、素材などを自分なりに使ったり、遊びに取り入れたりする</li> <li>身近な自然に興味をもち見たり触れたりしながら遊ぶ</li> <li>季節の自然物に触れ親しんだり、遊びに取り入れたりして遊ぶ</li> </ul>											

教育課程（3年保育4歳児）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	III IV											
発達の プロセス	<p>新しい教師や友達、身近な環境への興味や関心を高めながら自分の遊びを広げていく時期</p> <p>身近な環境への興味や関心が高まり、自分で遊びを深めていく時期</p>											
自分づくり	○人や身近な環境との関わりの中で自分の存在を認識する											
人との 関わり	○友達と同じことをしてイメージを共有しようとする											
身近な環境 との関わり	○いろいろな物に十分に関わり楽しむ											
ねらい	<p>○物の特性がわかり、楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しむ、興味や関心を広げる</li> <li>友達と意思を出し合いながら、イメージを共有して遊ぶことを楽しむ</li> <li>身近な自然の様子に気付き、興味をもって遊びに取り入り入れようとする</li> </ul>											
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることは自分できながら生活する</li> <li>裸足になって遊ぶ心地よさを味わう</li> <li>教師や気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ</li> <li>教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ</li> <li>新しい友達がいることに気付いたり、仲良くしようとしたりする</li> <li>教師や友達と一緒に遊びに必要な物や場を作って遊ぶ</li> <li>遊びの中で自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いを知ったりする</li> <li>したこと、見たこと、聞いたことなどを話す</li> <li>教師や友達の話の話を親しみをもって聞く</li> <li>園庭の自然や動植物に触れ親しむ</li> </ul>											

教育課程（2年保育4歳児）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	<p style="text-align: center;">I</p> <p style="text-align: center;">II</p> <p style="text-align: center;">III</p>											
発達のプロセス	<p>教師や友達と触れ合ったり、好きな遊びをしたりしながら、幼稚園生活に親しみ安定していく時期</p> <p>周囲の人や身近な環境への興味や関心が広がり、自分の遊びを広げていく時期</p> <p>身近な環境への興味や関心が広がり、自分の遊びを深めていく時期</p>											
自分づくり	<p>○興味関心のある物と関わろうとする</p> <p>○関わりを通して、人や身近な環境を知覚する</p> <p>○自分と他者との違いに気付く</p>											
人との関わり	<p>○場や物を共有しているがそれぞれ違うイメージや思いで遊ぶ</p> <p>○友達と同じことをしてイメージを共有しようとする</p> <p>○気の合った友達と同じ遊びを繰り返す</p>											
身近な環境との関わり	<p>○身近な環境に触れ親しむ</p> <p>○物の特性が分かり、楽しむ</p> <p>○いろいろな物に十分にに関わり楽しむ</p>											
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師や友達に親しみ、触れ合いながら遊ぶことを楽しむ</li> <li>新しい生活に興味をもち、安心して生活する</li> <li>身近な自然や動植物に触れ親しむ</li> <li>教師や友達と一緒に遊んだり、活動したりすることを楽しむ</li> <li>自分のしたい遊びを楽しむ</li> <li>身近な自然に興味をもち関わろうとする</li> <li>友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しむ、興味や関心を広げる</li> <li>簡単なルールのある遊びなどを通して、ルールや約束を守って遊ぶ楽しさに気付く</li> <li>友達と思いを出し合いながら、イメージを共有して遊ぶ楽しさに気付く</li> <li>身近な自然の様子に興味をもって遊びに取り入れようとする</li> </ul>											
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることは自分でしようとする</li> <li>自分のできることでは自分ですながら生活する</li> <li>気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ</li> <li>教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ</li> <li>教師や友達と触れ合ったり、遊んだりする</li> <li>教師や友達に親しみの気持ちをもつ</li> <li>教師や友達の話に興味をもつ</li> <li>教師が提示した環境に興味をもつ</li> <li>教師が提示した環境に興味をもつ</li> <li>自分のしたいことを伝えたり、分からないことを尋ねたりする</li> <li>園庭の自然や動植物に触れ親しむ</li> <li>自分でできることは自分でしようとする</li> <li>気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ</li> <li>教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ</li> <li>友達と一緒に遊ぶ</li> <li>5歳児のしていることに興味をもち、真似たりいろいろなことに挑戦したりする</li> <li>自分の思いを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の思いを聞いてたりする</li> <li>身近な自然や動植物に触れ親しんだり、それらに遊びに取り入れたりして遊ぶ</li> </ul>											

教育課程（5歳児）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	VI [V]											
友達とのつながりを感じながら、自己の力を十分に発揮して生活に取り組んでいく時期	友達と共通の目的をもち、協同して生活を進めていく時期											
発達のプロセス	V [IV]											
自分づくり	○他者を受け入れようとする ○社会的制約を受け入れながら自己抑制をしようとする											
人との関わり	○他の友達や集団にも目を向け、関わっていく ○いろいろな友達と共通の目的をもって関わる											
身近な環境との関わり	○繰り返し好きなことに取り組む ○物の特性を生かし、工夫して自分の生活に取り込む ○いろいろなことに自分から働きかける											
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達や教師と一緒に思いや考えを伝え合いながら遊びや生活を・ 友達のよさを認め合い、いろいろな友達と共通の目的をもって生活を進める楽しさを味わう</li> <li>・ 係の仕事や行事などに自分なりに意欲的に取り組もうとする</li> <li>・ 身近な自然の様子に気付き、興味をもったり、遊びに取り入れる・ 身の回りの自然や社会の様子に興味関心をもち、自分から関わる楽しさを感じたりする</li> </ul>											
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちの生活や遊びに必要なきまきまりや約束を話し合って決め、守りながら生活する</li> <li>・ 気の合う友達とイメージを共有しながら遊ぶ</li> <li>・ 友達や教師と一緒に考えを出し合い、力を合わせながらいろいろな活動に取り組む</li> <li>・ 見通しをもちながら生活する</li> <li>・ 自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを受け入れたりする</li> <li>・ 感じたことや考えたことを相手に分かるように話す</li> <li>・ 身近な素材や遊具を遊びに取り入れ、考えたり、試したり、工夫したりする</li> <li>・ 友達や教師の話を聞き、興味関心を広げる</li> <li>・ 身近な自然の変化に気付き、見たり、触れたり、調べたり、遊びに取り入れたりする</li> </ul>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と一緒に活動する中で生じた課題を自分たちで解決しながら生活を進めていく</li> <li>・ いろいろな友達と一緒に遊びながら、遊び方を教え合ったりルールを学び合ったりする</li> <li>・ 生活の中でルールをつくったりかえたり役割を考えたりしながら、生活をよりよくする</li> <li>・ 学年全体での取り組みを通して友達と楽しさを共有したり、達成感を味わったりする</li> <li>・ 行事に向けての取り組みや係の仕事を振り返り、充実感をもつ</li> <li>・ 感じたことや考えたことを相手に分かるように話す</li> <li>・ 友達や教師の話を最後までしっかりと聞く</li> <li>・ 自然や社会の変化に気付き、自分たちの生活に生かす</li> </ul>											

## 指導計画

3 歳児.....	20
4 歳児.....	31
5 歳児.....	42

幼児の姿

- ・幼稚園の生活が分からず戸惑い、身の回りの始末、排泄、衣服の着脱などは教師の援助を多く必要とする
- ・大声で泣いたり、教師から片時も離れなかつたりして教師の手を必要とする幼児がいる
- ・気に入ったものや場所を見つけて遊んだり、初めて見る玩具に興味をもち、使ってみたりする
- ・大勢で遊んだり、集まったりすることに抵抗がある幼児もいる
- ・母親の緊張が幼児に伝わり、不安な表情を見せる幼児もいる
- ・園では元気でも、家庭に戻るとぐずったり、昼寝を多くしたりする
- ・はりきって登園する幼児、不安で保護者から離れられない幼児、緊張した表情の幼児など、様々な姿が見られる

ねらい

- ・喜んで登園する
- ・教師に手伝ってもらったり、教えてもらったししながら園での生活の仕方を知り、安心して過ごす
- ・担任やクラスに親しみをもつ
- ・好きな場所や玩具を見つけて、遊ぼうとする

内容

- ・元気に登園する
- ・排泄、手洗い、ズックの履き替えなど、基本的な生活の仕方を知る
- ・園での大まかな1日の流れを知る
- ・教師や友達と一緒にいたり、遊んだりする
- ・教師や友達と一緒に牛乳を飲むことを楽しむ
- ・自分の学級が「うさぎ組」であることを知ったり、教師の顔や名前、保育室の場所を覚えたりする
- ・靴箱やロッカーなどの自分のマークや場所を覚える
- ・幼稚園には生活するためにいろいろなきまりがあることを知る
- ・気に入った場所やお気に入りの玩具を見つけて遊ぶ
- ・玩具の安全な使い方を知る
- ・挨拶や返事をする
- ・教師の話をおこうとする
- ・絵本や紙芝居を見る
- ・まねっこ遊び（手遊び・指遊び）を楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎教師に安心感や親しみをもてるように、一人一人の名前を呼びかけたり、笑顔で挨拶をしたりスキンシップをとったりする
- ◎身の回りの始末や排泄に関しては、個人差があるため、教師間で連携し、個々のペースに寄り添いながら、やり方を教えたり手を貸したりする
- 靴箱やロッカー、傘立て、引き出しにはマークをつけ、自分の場所が分かるようにしておく
- 園生活のリズムをつかみ、安心して過ごせるように、毎日同じ生活の流れで過ごすようにする
- 一人一人が自分の遊びたい場所や気に入った玩具が見つけれ安心して過ごせるように、家庭で遊び慣れているものや興味をもちそうな玩具など種類や数などに配慮して準備する
- ◎好きな場所や玩具を見つげることができるように、一人一人の動きや様子を丁寧に見取り、興味をもちそうな遊びに誘ったり、一緒に遊んだりする
- 教師自ら「おはようございます」、「いただきます」、「ごちそうさま」、「さようなら」の挨拶をはっきりとし、よいモデルとなるようにする
- ◎教師や友達と一緒に過ごす時間の楽しさを感じることができるように、教師と一緒に絵本や紙芝居を見たり、親しみやすい手遊びなどをしたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・入園式の際に、保護者に制帽やかばんのかけ方、引き出しの使い方などを理解してもらうために、幼児と一緒に降園準備をしてもらう
- ・登降園時や連絡帳を通して一人一人の姿を具体的に伝え、保護者が安心感をもてるようにする
- ・保護者となかなか離れられなかつたり、泣きながら登園したりする幼児の保護者には、降園時に園での様子を具体的に伝え、安心感をもてるようにする
- ・一人で排泄ができるように、家庭での様子を聞きながら援助の仕方を考える。また、園での援助の仕方を保護者にも伝える
- ・体の大きさに応じてかばんのひもの長さを調節すること、自分でズックがはけるようにかかるとにひもをつけるなど、個に応じたものを準備するように保護者に理解を促す
- ・学年懇談会（1年の見通し、1学期の生活、緊急お迎え訓練についてなどを伝える）
- ・非常用リュックについて、保護者に伝え準備してもらう

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・園でのトイレの使い方を知る
  - ・教師と一緒に手洗いをすることによって、手洗いの仕方を知る
  - ・身体計測（5歳児に着脱を手伝ってもらいながら身体計測を受ける）
- <食育>
  - ・園での弁当の食べ方を知る（準備や片付けの仕方・挨拶の仕方）

意図的活動

- ・園での生活の仕方の指導（トイレの使い方、手洗いの仕方、ロッカーの使い方、靴箱の使い方、引き出しの使い方、遊びの洗い方、スモックの使い方）
- ・運動服への着替え方
- ・製作（こいのぼり）

行事など

- ・入園式
- ・創立記念日
- ・身体計測
- ・こいのぼりのつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「チューリップ」「ちょうちょ」「ちいさないのち」「小さな庭」「そらとべあおむしくん」「こいのぼり」「おつかいありさん」「どこでしょう」
- ・絵本など・・・「あくしゅでギョッ」「いっしょにあそぼ!」「ここです!」
- ・紙芝居・・・「ごあいさつできた!」「チューリップさんありがとう」
- ・素材・・・自由画帳
- ・用具・・・クレヨン、粘土、セロハンテープ
- ・自然、栽培・・・ウサギ、金魚、チューリップ、サクラ、タンポポ



幼児の姿

- ・連休中の疲れが残っていたり、気候の変化から体調を崩したりする幼児もいる
- ・登園を渋ったり、保育室で泣いていたりする幼児もいるが、少しずつ自分のしたいことを見つけて遊ぶ姿が見られるようになってくる
- ・1日の大まかな流れがわかり、牛乳を飲むことや絵本や紙芝居を見ることを楽しみにする幼児が多くなる
- ・友達に目が向いてきて、わざと嫌がられることをしたり、友達の持っているものを取ったりして反応を見る幼児がいる
- ・友達の遊んでいる様子を見たり、同じ場やもので遊ぶ友達に親しみを感じたりしている
- ・砂場で砂や水に触れて感触を楽しんでいる
- ・製作コーナーで、紙や空き箱を用いて切ったり、貼ったりしながら好きなものをつくって楽しんでいる
- ・運動服への着替え方を知り、自分でやってみようとする。中には、服を脱ぐことに抵抗があり、着替えたくないという幼児もいる

ねらい

- ・園生活の仕方を知り、安心して過ごす
- ・自分のしたい遊びややってみたいことを見つけてする
- ・教師や友達に親しみ触れ合ったり、遊んだりする
- ・身近な自然に触れ合い、戸外で遊ぶ心地よさや楽しさを感じる

内容

- ・登降園時の始末や準備を教師と一緒にしてみようとしたり、できるところは自分でしたりする
- ・教師や友達と同じ場で過ごしたり、遊んだりする
- ・気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・自分の好きな玩具や用具と関わって楽しむ
- ・玩具や用具の使い方(クレヨン、自由画帳、粘土、指のり、下敷き紙、セロハンテープ)を知る
- ・こいのぼりを見て、風に気付く
- ・砂や水の感触を楽しみながら遊ぶ
- ・ダンゴムシ、アリなどの生き物に興味をもち、見たり、触れたりする
- ・教師や友達と一緒に過ごししながら、生活や遊びに必要な言葉やまじりを知る
- ・挨拶や返事をする
- ・先生の話をおこうとする
- ・してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする
- ・教師や友達と一緒に絵本や紙芝居を見たり、歌を歌ったりする
- ・身近な素材に触れ、つくったりかいたりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎身の回りの始末などを自分でしようしているときには、そばで見守ったり励ましたりして、時間がかかっても待つようにする。また、一人でできず困っているときには、さりげなく手伝ったり、やり方を知らせたりし、安心して取り組めるようする
- ◎遊ぶ楽しさや教師や友達と一緒にいる楽しさを感じることができるよう、教師も遊びに加わり、一緒に楽しむ
- ◎友達に親しみの気持ちを持ち、関わるができるように友達の様子や遊びに興味をもつ姿を見守りながら、マークを知らせたりする
- ◎幼児のありのままの姿を受けとめながら安心感をもたせるとともに、危険なことや友達に迷惑をかけることは慎まなければいけないことを伝える
- 安心して自分のしたい遊びが楽しめるように玩具を十分に準備し、幼児が落ち着いて遊べるコーナーを構成する
- ◎なかなかしたい遊びを見つけていけない幼児には安心できるような言葉を掛けたり、遊びに誘ったりする
- ◎砂や水の感触を楽しむことができるように、教師も一緒に砂や水に触れながら遊ぶ中で感触の気持ちよさや遊ぶ楽しさに共感していく
- ◎身近な自然に親しめるように、園庭の草花や生き物を見たり、触れたりして親しんでいるところを見逃さず、幼児の驚きや発見に共感していく
- ◎生活に必要なまじりや言葉あることに気付くことができるように、遊びの中で教師が「貸して」、「入れて」、「ありがとう」などの言葉を使ったり、幼児の姿を認めたりする
- ◎身近な素材に触れて好きなものがつくれるように、幼児が扱いやすい素材(小さい空き箱、紙など)を製作コーナーに置いたり、教師が楽しんでつくっている様子を見せたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・疲れや気候の変化で体調を崩したり、連休明けの登園を渋ったりする姿が見られるので、一人一人の様子を丁寧にしながら、家庭との連絡を密に図っていくようにする
- ・友達への興味が増すと同時にいざこざも多くなるので、保護者にはその経緯や対応について説明し、双方の保護者との信頼関係を大切に
- ・春の遠足では、親子でキャンパス内を歩き、保護者にもキャンパス内でのきまりを伝える。また、親子で一緒に砂遊びを楽しむ時間を設ける

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・視力検査(受け方を知り、教師と一緒にやってみようとする)
  - ・内科検診(教師と一緒に安心して受ける、自分の名前を言う)
- <安全>
  - ・避難訓練(放送を静かに聞く、教師と一緒に避難する、「かしわざいコース」を知る)
- <食育>
  - ・園での弁当の食べ方が分かり、できることを自分でしようとする

意図的活動

- ・小学校の運動会見学
- ・製作(壁面掲示)
- ・砂遊び

行事など

- ・春の親子遠足(親子砂遊び)
- ・避難訓練
- ・内科検診
- ・視力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「こいのぼり」「すきすきお母さん」「ことりのうた」「一本と一本で」「おはなしゆびさん」「のねずみ」「とうさんゆび どこです」
- ・絵本など・・・「ころわんとこいのぼり」「みいたんのぼうけん」「ころわんとふわふわ」「だあれだあれ」「ぎゅっ」「ころわんはだんごむし」「みつばちのミレイユ」
- ・紙芝居・・・「きょうはだいじなだいじなひ」「するするおかあさん」
- ・素材・・・包装紙、画用紙
- ・用具・・・セロハンテープ、クレヨン
- ・自然、栽培・・・ダンゴムシ、アリ

幼児の姿

- ・園生活の仕方が分かり、少しずつ自分から身の回りのことに取り組むが、個人差がある
- ・教師から離れて自分から好きな環境に関わったり、遊びを見つけたりして楽しんでいる
- ・草花を摘んだり、生き物（カタツムリ、ダンゴムシ、アリ）を見つけたりして喜んでいる
- ・友達への興味も広がり、同じ遊びをして楽しむようになってくるが、自分の思いが通らないと大声で泣いたり、友達をたたいたりすることも増えてくる

- ・教師の真似をして泣いている友達をなぐさめたり、「どうして泣いているの？」と気にしたりする
- ・皆が集まって絵本を見たり、音楽に合わせて動いたりすることを楽しむようになる
- ・小さな箱、カップ、トイレットペーパーの芯などをセロハンテープで組み合わせることを楽しむ幼児もいる
- ・新しい用具と出会い、使ってみようとする姿が見られる
- ・玩具や用具を使って遊ぶ中で、夢中になり過ぎて使い方が乱暴になることがある

ねらい

- ・園での生活の仕方が分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする
- ・教師や友達と触れ合いながら過ごす中で自分のしたい遊びを楽しむ
- ・身近な玩具や素材に親しみ触れたり、使ったりして遊ぶことを楽しむ
- ・梅雨の自然に関心をもって見たり、触れたりする

内容

- ・登降園時の始末や準備の仕方が分かり、自分でしようとする
- ・片付けや着替えなど、自分でできることは自分でしようとする
- ・雨具の始末の仕方を知る
- ・気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・教師や友達と一緒にいることを楽しむ
- ・教師や友達と同じ場で過ごす中で、友達のしていることに興味をもち、自分もやってみようとする
- ・玩具や用具の安全な使い方（蹴ったり投げたりしないこと、はさみの持ち方など）を知る
- ・砂、水、泥などの感触を楽しみながら遊ぶ
- ・雨音に気付いたり、日差しの強さを感じたりする
- ・教師や友達と一緒に過ごしながら、生活や遊びに必要な言葉やルールを知る
- ・してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする
- ・教師や友達と一緒に絵本や紙芝居を見たり、歌を歌ったりすることを楽しむ
- ・身近な素材に触れ、つくったりかいたりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる楽しさを感じられるように、教師も一緒に遊びながら、幼児が感じている楽しさに共感したり、思いに寄り添ったりする。なかなか遊びだせない幼児へは、教師が遊びに誘ったり、友達の様子を見たりして遊びに興味をもてるようにする
- ◎ものの取り合いなど、いざこざが起きたときは互いの思いを受け止めて代弁し、互いの気持ちが伝わるようにしたり、気持ちを切り替えて遊び始めることができるようにする
- ◎幼児が自分の思いを態度や言葉で伝えようとしているときは、表情や身振りなどから思いを察したり、問いかけたりする
- ◎生活に必要なきまりや言葉があることに幼児が気付いていけるように、教師自らが生活に必要な言葉を使ったり、順番を守ったりする
- 身近な素材に触れて好きなものがつくれるように十分な量を製作コーナーに置いておいたり、要求に応じて出せるように準備しておく
- 水を使った遊びを楽しめるように、空容器などを準備する
- ◎雨音や太陽の日差しに教師自身が敏感に反応したり、幼児の気付きに共感したりする
- ◎生き物に興味をもてるように、一緒に見たり触れたりする
- ◎裸足になって砂場で遊ぶ楽しさを感じられるように教師も一緒に遊びながら、水や砂に触れる楽しさや裸足の気持ちよさに共感する

家庭との連携・地域との連携

- ・着替え袋の中を夏用に替えるよう保護者に伝える
- ・砂遊びや水遊びをする時に下着を替えることが多くなる幼児もいるので、下着を多めに補充してもらう
- ・濡れた衣服の始末が自分でしやすいように、扱いやすいビニール袋を準備してもらえらるよう伝える
- ・友達とのいざこざが多くなるので、保護者にはその経緯や対応について説明し、双方の保護者との信頼関係を大切に

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・砂遊び後には、手洗いやうがいをする
  - ・雨で濡れた靴やコート、泥で汚れた運動服の始末の仕方を知り、手伝ってもらいながら自分でやってみようとする
  - ・むし菌になるわけを知り、歯みがきをしようとする
  - ・体重測定（測定の仕方、測定場所での待ち方を知る）
  - ・検診を受ける（歯科検診・耳鼻科検診・眼科検診）
- <安全>
  - ・避難訓練（地震について知る、地震が起きた時には教師の指示を聞き、一緒に行動することを知る、緊急時お迎えの仕方を知る）
- <食育>
  - ・弁当の食べ方が分かり、自分でする

意図的活動

- ・製作
- ・水を使った砂遊び

行事など

- ・日曜参観
- ・避難訓練
- ・体重測定
- ・歯科検診
- ・耳鼻科検診
- ・眼科検診

補助資料

- ・歌、手遊びなど・「ひっこしかたつむり」「かたつむり」「めだか」「あめふり」「かえるのうた」
- ・絵本など・・・「ダンゴムシのころちゃん」「びよーん」「かたつむりののんちゃん」「どろんこどろんこ！」「こぐまちゃんのみずあそび」
- ・紙芝居・・・・・・・・
- ・素材・・・・・・・・空き箱
- ・用具・・・・・・・・のり、下敷き紙、製作タオル
- ・自然、栽培・・・・・・・・ダンゴムシ、カタツムリ、アジサイ

幼児の姿

- ・一人一人表現は違うが教師に親しみを感じ、安心して関わろうとする幼児が増える
- ・身の回りの始末や衣服の着脱など自分でやろうとする気持ちを持ち、取り組む幼児が増えてくる
- ・暑い日には、水遊びを楽しむ幼児が多い。色水遊びや水鉄砲遊び、プール遊びなど、水との関わりを楽しんでいる。一方、水が顔にかかることを怖がる幼児や着替えるのが面倒な幼児もいる
- ・友達の一歩のしていることに関心をもち、気に入った友達と一緒に遊ぼうとする幼児が増えてくるが、友達との関わり方が分からず、いざこざが生じやすい
- ・七夕のつどいを楽しみにしている幼児が多い。しかし、つどいが始まると何がおこっているのか分からないような表情で周りの様子を見ている幼児もいる

ねらい

- ・生活の中で身の回りのできることを自分でしようとする
- ・教師や友達と触れ合って過ごす中で自分のしたい遊びを十分に楽しむ
- ・水遊びを楽しむ
- ・七夕について興味をもつ

内容

- ・身の回りのことは自分でしようとする
- ・水遊びの身支度や後始末について知る
- ・生活や遊びに必要なルールを知り、守ろうとする
- ・教師や友達と一緒に過ごすことを楽しむ
- ・友達の存在や思いに気付く
- ・友達の名前を覚え、気に入った友達と遊ぶ
- ・友達のしていることに興味をもち見たりまねたりする
- ・自分の好きな遊具や素材、用具と関わって楽しむ
- ・この時期ならではの遊び（水鉄砲、色水、プールなど）を楽しむ
- ・短冊や笹飾りをつくったり、七夕のつどいに参加したりする
- ・雨音に気付いたり、日差しが強さを感じたりする
- ・教師や友達に喜んで話をしたり、聞いたりしようとする
- ・してほしいことや困ったこと、嬉しいことなどを動作や言葉で教師に伝えようとする
- ・身近な素材に触れ、かいたりつくったりすることを楽しむ
- ・好きなものになって遊ぶ
- ・音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 友達と関わって遊ぶことを楽しめるように教師がモデルとなって関わり方を示したり、具体的な場面で「入れて」、「貸して」など状況に応じた言葉を伝えたりしていく
- ◎いざこざが起きたとき、遊びが続いていくようであれば見守る。必要に応じて相手の気持ちに気付けるように、他の思いを十分に受け止めたり、互いの思いを代弁したりしていく
- プールに入る手順や水遊びが終わった後の始末の仕方については、幼児が自分でしてみようと思えるように幼児の動線に配慮して環境を構成する
- ◎プールに入るときには、安全面に配慮したり、個に応じて着替えの援助をしたりする
- ◎水遊びに抵抗がある幼児には、無理に誘わず少しずつ水に親しめるように関わる
- 一人一人が水遊びを楽しめるように、色水遊びコーナー、水鉄砲コーナー、プールなどの場や必要な用具を整える
- ◎一人一人が自分の思いやイメージを大切にしながら遊びに取り組めるように、遊びに必要なものを随時準備する
- ◎七夕に関する絵本や歌を準備したり、皆で笹飾りをつくる機会を設けたりして、七夕のつどいを楽しめるような雰囲気をつくる

家庭との連携・地域との連携

- ・水遊びができるように、持ち物を事前におたよりで知らせる
- ・暑さのために疲れやすく体調を崩しやすいので、家庭でも生活リズムを整えてもらうとともに、登降園時に幼児の健康状態について連絡をこまめに取り合う
- ・学年懇談会（着替え、いざこざの見方やとらえ方）
- ・個別懇談（家庭での生活リズムなどについて情報を得る、1学期の成長を喜び合う、2学期へ向けての課題）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の大切さを知る
  - ・雨で濡れた靴やコートなどを教師に手伝ってもらいながら始末する
  - ・手洗い足洗い、汗の始末、水分補給など、教師と一緒に取り組む
  - ・プール遊び後の水着の始末や着替え方を知り、教師に手伝ってもらいながらやってみる
  - ・足がたをとり、自分や友達の足の形に興味をもつ
- <安全>
  - ・プール遊びの約束を知る（プール遊びの前には準備体操を教師と一緒にやる、勝手に一人でプールに入らない、ふざけないなど）
  - ・夏休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、水の事故に注意、知らない人についていかないなど）を聞く
  - ・避難訓練（座って静かに放送を聞く、担任の指示に従って行動する）

意図的活動

- ・水遊び
- ・製作（短冊、七夕飾り）
- ・絵の具遊び（スタンプング、ローラー、手がた、色水遊びなど）
- ・七夕のつどいに向けての活動
- ・水着の着脱や濡れた衣服の始末
- ・持ち物の整理や保育室の掃除

行事など

- ・七夕のつどい
- ・足がたとり
- ・終業のつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「きらきら星」「たなばた」「しゃぼんだま」「うみ」「天の川の上で」
- ・絵本など・・・「えっちゃんのながぐつ」「ころわんとしろいくも」「うさぎちゃんうみへいく」
- ・紙芝居・・・「くじらくん」「バナナのくにのバナナンひめ」「みつごのおぼけのパピ・プペ・ポー」
- ・素材・・・空容器
- ・用具・・・セロハンテープ、マジック、絵の具
- ・自然、栽培・・・

幼児の姿

- ・2学期になって生活リズムが取り戻せず、母親と離れられなかったり、ぐずったりする幼児もいる
- ・久しぶりの登園を喜び、嬉しそうに接してくる幼児がいる一方、不安や戸惑いを示す幼児もいる
- ・水遊びやプール遊びの準備や後始末などの仕方が分かるようになり、自分ですらんとする幼児の姿が見られる
- ・水遊びやプール遊びに慣れてきて、水遊びを十分に楽しむ姿が見られる
- ・1学期していた遊びを繰り返したり、友達との触れ合いを楽しんだりしている
- ・バッタやセミなどの虫や、セミの抜け殻などを見たり、触ったりしている
- ・教師や友達と一緒に走ったりリズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ姿が見られる

ねらい

- ・園生活のリズムを取り戻し、安定して過ごす
- ・教師や友達と一緒にのびのびと体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・教師や友達と触れ合って遊ぶことを楽しむ中で自分の思いを表現しようとする
- ・園庭の虫や生き物に触れ親しみながら、季節の変化を感じる

内容

- ・1学期の生活を思い出したり、友達の様子をまねたりしながら生活リズムを取り戻す
- ・教師に見守られながら、衣服の着脱など身の回りの始末は自分ですらんとする
- ・したい遊びや気に入った場所を見つけて遊ぶ
- ・園庭、プールや砂場などの戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ
- ・教師や友達と一緒に走ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ
- ・教師や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ
- ・1学期に慣れ親しんだ歌を歌ったり、新しい歌を覚えたりして、皆と一緒にいる雰囲気を楽しむ
- ・園庭の虫や草花に興味をもち、関わる
- ・のびのびフェスティバルを楽しみにし、それに向けての活動に喜んで参加する
- ・夏休みに経験したことを教師や友達に話そうとする
- ・困ったことや楽しかったこと、感じたことを素直に教師や友達に話す
- ・生活やごっこ遊びの中での言葉のやりとりの楽しさに気付く
- ・いろいろな素材や用具を使って行事に必要なものをつくる

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎久しぶりの登園で不安を感じる幼児には、安心して過ごせるように、気持ちを受け止めながらゆったり関わる
- ◎一人一人の育ちに合わせて運動着の着脱や衣服の始末、身支度などが身に付くように、自分ですらんとする姿を見守り、できたことを認めていく
- 休息や水分の補給ができるような環境を整えておき、習慣づくようにしていく
- 自分の好きな遊びを見つけて安心して遊ぶことができるように、1学期に遊んでいた玩具や素材を用意しておいたり、一人一人に応じた場所をつくらしたりする
- ◎のびのびフェスティバルを楽しみに感じることができるよう話題に取り上げたり、4, 5歳児の演技や競技を見たりする
- ◎音楽に合わせて体を動かしたり、走ったりすることが楽しいと感じられるように、教師自身が楽しんで取り組むようにする
- リズム表現へのイメージを膨らませたり、楽しんで走ったりできるように、面や小道具などを準備する
- ◎一人一人の話をじっくり聞き、話そうとする気持ちを大切にしていく
- 捕まえた生き物や自然物などを皆で見たり、触れたりできる場所を設定する
- ◎身近な生き物や自然物に触れ親しめるように、話題に取り上げたり、幼児の気付きに共感したりする

家庭との連携・地域との連携

- ・暑さのために疲れやすく体調を崩しやすいので、家庭でも生活リズムを整えてもらおうとともに、登降園時に幼児の健康状態について連絡をこまめに取り合う
- ・学年懇談会（2学期の見通し、のびのびフェスティバルについてなど）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・プール遊び後の水着の始末や着替えを確認し、教師に手伝ってもらいながら自分でやろうとする
  - ・水分補給の必要性を知り、水分補給をする
  - ・汗の始末の大切さを知る
  - ・身体計測（受け方を思い出し、安心して計測をする）
- <安全>
  - ・避難訓練（「けやきコース」の避難の仕方を知る、教師と一緒に二次避難する）

意図的活動

- ・水遊び
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動（表現遊び、運動遊び、ディズニー体操）
- ・製作（壁面、のびのびフェスティバルの小道具、万国旗）

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「ぶんぶんぶん」「おつかいありさん」「くいしんぼうのゴリラ」「園歌」
- ・絵本など・・・「コロちゃんのかいすいよく」「とんぼのあかねちゃん」「ありんこちいちゃん」「ありんこちゃんのおてつだい」
- ・紙芝居・・・「ワンタくんのしょうぼうし」「バナナがいっぱい」「ありんこありりはくいしんぼう」「ぶどうだいすきばくちゅるん！」
- ・素材・・・牛乳パック、プラスチックカップ
- ・用具・・・めうち
- ・自然、栽培・・・アリ、バッタ、ダンゴムシ、トンボ

幼児の姿

- ・運動着の着脱が身に付き、自分でやろうとする姿が見られる。しかし、着替えのスピードには個人差があり、着替えに時間がかかったり、手伝いが必要になったりする幼児もいる
- ・周囲の様子が分かるようになり、友達のマねをしようとする姿が見られる
- ・ものや場所の取り合いでいざこざが起きるようになってきている。そこではこれまであまり関わりがなかった幼児の関わりが見られる
- ・のびのびフェスティバルで踊った曲に合わせて体表現をしたり、年上児が作った場で遊んだりして、年上児と関わる姿も見られる
- ・落ち葉や木の実などを拾って喜ぶ幼児が多い
- ・自分なりに思いをもち、箱や空容器などを組み合わせて遊びに使うアイテムを作る姿が見られる
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動では、教師や友達と走ったり踊ったりすることを楽しみ、心待ちにする幼児が多い。しかし、中にはみんなと一緒に活動したり、人前で踊ったりすることを渋る幼児もいる
- ・当番活動を楽しみに待つようになる

ねらい

- ・教師や友達と一緒に、のびのびと体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・教師や友達と触れ合いながら遊ぶ楽しさを味わう
- ・のびのびフェスティバルなどの行事を楽しみにし、喜んで参加する
- ・秋の虫や植物に興味をもって関わる

内容

- ・教師や友達に手伝ってもらいながら、衣服の着脱などの身の回りの始末を自分でする
- ・戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ
- ・音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろなものを体表現したりする
- ・自分のイメージしたものになったり、見立てたりして遊ぶ
- ・友達と同じものをもったり身に付けたりすることを楽しむ
- ・新しい歌を覚えたり、簡単なルールのある遊びをしたりして、皆と一緒にいる雰囲気を楽しむ
- ・友達存在や思いに気付く
- ・教師や友達との言葉のやりとりを楽しみ、自分の感じたことやしてほしいことを伝えようとする
- ・のびのびフェスティバルを楽しみにし、それに向けての活動に喜んで参加する
- ・「順番」「並ぶ」など皆で活動する時のルールの言葉を知る
- ・年上児のしていることに興味をもち、見たりまねたりする
- ・木の実や落ち葉を集めて遊びに利用するなど身近な自然に触れる

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎運動服の着脱や始末など、自分でしようとする意欲を受け止め、一人一人の育ちに合わせて身に付けていけるようにする
- ◎音楽に合わせて体を動かしたり、走ったりすることが楽しいと感じられるように、教師自身が楽しんで取り組むようにする
- 幼児一人一人のイメージを膨らませて体を動かしたり、楽しんで走ったりできるように面や小道具を準備する
- ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように、幼児の遊びに積極的に入り、一緒に遊びながら必要に応じてイメージを伝えたり遊び方を示したりする
- ◎いざこざが生じたときには、友達にも思いがあることに気付くように互いの思いを代弁したり、どうしたらよいかを教えたりしていく
- のびのびフェスティバルを心待ちにできるように、のびのびフェスティバルを話題として取り上げたり、4、5歳児の演技を見たりする機会を設ける
- ◎体を動かして遊び心地よさが味わえるように、のびのびフェスティバルで使った用具を幼児が使いやすいように置いておいたり、教師も積極的に裸足になって戸外へ出て遊んだりする
- ◎身近な秋の自然物に興味をもち関わったり、遊びに取り入れられたりできるように、幼児が手に取ることができる場所に提示するとともに遊びに使って見せたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのびフェスティバルの練習のため、疲れていたり、緊張していたりするので家庭で十分に休養をとったり、スキンシップをとったりするように伝える。また、のびのびフェスティバルを楽しみに迎えられるように、幼児の様子について連絡を取り合っていく

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・視力検査（受け方を思い出し、進んでしようとする）
- <安全>
  - ・公道の歩き方や横断歩道の渡り方を知る

意図的活動

- ・のびのびフェスティバルに向けての活動（体表現、運動遊び、ディズニー体操）

行事など

- ・のびのびフェスティバル
- ・秋の遠足
- ・視力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「キャベツのなかから」「5つのメロンパン」「どんぐりころころ」「やおやおみせ」
- ・絵本など・・・「ころわんとちくちくもじょ」「いもほり」
- ・紙芝居・・・「コロちゃんの遠足おおさわぎ」「いものきょうだい」「おべんともって」「おんなじおんなじ」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ドングリ、落ち葉、カキ、クリ

幼児の姿

- ・身の回りのことや片付けなどを自分から進んでしようとする幼児が増えてきている
- ・片付けや準備など自分一人でやりたいという思いからいざこざが起きるようになる
- ・コートやジャンパーを着用するようになり、着脱に時間がかかったり、自分でできず困ったりしている幼児がいる
- ・同じ遊びに興味をもつ友達と一緒に、遊びの場を作ったり、アニメのキャラクターやお姫様などになりきってごっこ遊びをしたりすることを楽しむ幼児が増えてくる

- ・皆と一緒に遊ぶことを楽しめる幼児が増えてくる
- ・新聞紙を細く巻いたスティックや箱やカップなどを組み合わせてヒーローごっこの武器やアニメのキャラクターのアイテムなど、遊びに必要なものをつくって楽しんでいる
- ・落ち葉や木の実を集めて、思い思いに遊びに取り入れている
- ・年上児との関わりを通して、年上児に親しみの気持ちをもつようになる

ねらい

- ・冬に向けて必要な生活の仕方を知り、自分でしようとする
- ・教師や友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ
- ・遊びに必要なものをつくったり、作ったものを遊びに取り入れたりする
- ・4, 5歳児に親しみをもち、触れ合いを楽しむ

内容

- ・気温の寒暖に応じて衣服の調節をすることを教える
- ・薄着の習慣を身に付ける
- ・教師や友達と簡単なルールのある遊びをする
- ・自分のイメージしたものや好きなものになって遊ぶ
- ・友達と一緒に遊びの場をつくったり、同じものを持ったりしながら、ごっこ遊びを楽しむ
- ・皆と一緒に同じ遊びを楽しむ
- ・4, 5歳児との触れ合いを楽しんだり遊びを教えてもらったりする
- ・戸外に出て風や土の冷たさを感じる
- ・木の实や落ち葉を集めたり、それを使って遊んだりする
- ・チューリップの球根を植えて生長を楽しみにする
- ・遊びや日常の会話の中で、自分の思いを教師や友達に言葉で伝える
- ・遊びの中での言葉のやりとりを楽しむ
- ・リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ
- ・身近な素材を使って自分なりにイメージしたものを作ろうとする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎それぞれの幼児の体調やその日の気候に応じて、衣服を調節することに気付くよう声をかける
- ◎登降園時の身支度や運動着の着脱など、自分でできたという満足感を感じることができるよう自分で取り組む姿を認めたり、やることを伝えたり、難しいところを手伝ったりする
- ◎ごっこ遊びの楽しさが味わえるように、幼児の遊びに積極的に入り、一緒に遊んだり必要に応じて遊び方を示したりモデルになったりする
- ◎イメージしたものやつくりたいものを作ることができるよう、必要に応じて作り方を示したり、一緒に作ったりする
- グループでの活動や簡単なルールのある遊びなど、友達と一緒に楽しめる活動を取り入れる
- 年上児に親しみの気持ちをもつことができるように、4, 5歳児と触れ合ったり一緒に活動したりする機会をつくる
- ◎年上児との触れ合いを楽しめるように、その幼児なりに関わろうとする姿を応援したり、教師がモデルとなり積極的に関わったりする
- 芽が出るのを楽しみに待てるように、すぐ目に触れることができる場所にチューリップの球根を植える
- ◎秋の自然物に触れたり、遊びに取り入れたりする楽しさが味わえるように、秋の話題を取り上げたり、幼児が拾ってきたものを使って遊ぶ姿を認めたり、必要に応じて友達に伝えたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・防寒具を着てくる幼児が増えてくるので、フックにかけやすいようかけひもをつけてもらう
- ・防寒具のボタンやファスナーの開閉のやり方を教えたり、一緒にやってみたりするよう伝える
- ・秋の茶会での身支度（白い靴下、襟付きの洋服）について伝える
- ・学年懇談会（2学期の遊びの姿から幼児が学んでいること、つまずきやいざこざ）
- ・薄着を心がけるよう伝える

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・かぜ予防のためのうがいの仕方を知る
  - ・鼻のかみ方を知る
  - ・体重測定（自分の名前を言う、最後まで静かに行う）
  - ・聴力検査（受け方を知る）
- <食育>
  - ・教師や友達と一緒に旬の果物を食べることで、食べる楽しさやおいしさを感じる
  - ・教師や友達と一緒に茶会の雰囲気を感じながら茶を飲んだり、和菓子を食べたりする

意図的活動

- ・簡単なルールのある遊び
- ・チューリップの球根植え
- ・楽器遊び
- ・劇遊び

行事など

- ・なかよしウィーク
- ・親子活動
- ・秋の茶会
- ・避難訓練
- ・体重測定
- ・聴力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「やきいもグーティーパー」「おもちゃのチャチャチャ」「楽しいね」「あたまかたひざボン」
- ・絵本など・・・「おおかみと7ひきのこやぎ」「おおきなかぶ」「さんびきのやぎのがらがらどん」
- ・紙芝居・・・「ばんやとおうさま」「七五三おめでとう」「にげたくれよん」
- ・素材・・・新聞紙
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・チューリップの球根 ヒヤシンスの球根

幼児の姿

- ・防寒具の着脱を手伝ってもらいながらも自分でやろうとしている
- ・教師や友達と一緒に手洗いやうがいをしている
- ・お姫様ごっこやヒーローごっこなどを通してなりきる
- ・楽しさや場を共有したり、場を作ったりする楽しさを味わっている
- ・友達と関わり、同じ遊びを繰り返し楽しむ姿が見られる
- ・いざこざで困っている友達の思いを聞いたり、泣いている友達をなぐさめたりして、いざこざを仲裁する幼児もいる
- ・同じ絵本や紙芝居を繰り返し見ることを楽しんでいる
- ・クリスマスのついでで、人に見てもらおうことを意識し、“練習をして人に見せる”という経験をする
- ・水栽培の球根がどうなっているかを確かめたり、11月末に植えたチューリップの球根に関心をもったりしている

ねらい

- ・教師や友達と一緒にクリスマスやもちつきの日頃気を楽しむ
- ・冬休みがあることを知り、楽しみに待ったり、新年を迎える準備をしたりする
- ・イメージを膨らませながらいろいろな表現をして遊ぶ
- ・身近な自然の変化に気付き、冬の訪れを感じる

内容

- ・暖房器具のまわりでは安全に気を付けて遊ぶ
- ・手洗いのときには腕まくりをしたり、よく水気を切ったりすることを知る
- ・自分のイメージしたものや好きなものになってごっこ遊びをする
- ・教師や気の合う友達とごっこ遊びを楽しむ
- ・困ったり、泣いたりしている友達を見て手助けしたり、なぐさめたりする
- ・水栽培をして、球根の生長を楽しみする
- ・クリスマスや正月に関心を持ち、もちつきやクリスマスのついでなどの行事に喜んで参加する
- ・保育室を掃除したり、遊具を整頓したりする
- ・風の冷たさや吐く息の白さなど、冬の自然現象に気が付く
- ・気に入った絵本や紙芝居の物語に親しみ、繰り返し見たり、聞いたりすることを楽しむ
- ・自分の思いを教師や友達に言葉で伝える
- ・遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ
- ・身近な素材を使ってクリスマスにちなんだ飾りをつくる
- ・クリスマスにちなんだ歌を歌ったり、曲に合わせて楽器を鳴らしたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎暖房器具の近くでは安全に気を付けて遊ぶように声を掛け、火の怖さを伝える
- ◎換気をするときには、その都度、換気をする意味を伝えながら行う
- ◎いざこざが生じたときには、互いの状況に気付いたり、自分の思いを表現したりできるように仲立ちしたり、必要に応じて言葉を補ったりする
- ◎遊びや生活の中で自分の思いを言葉で表現できるように言葉のやりとりを見守り、伝わっていないところを教師が仲立ちする
- ◎友達と関わって遊ぶ楽しさが味わえるように、遊びの中に積極的に入り、イメージがより膨らむように雰囲気盛り上げたりアイデアをだしたりする
- ◎友達と同じことをする楽しさが味わえるように皆で歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする
- もちつきやクリスマスのついでなど、この時期ならではの行事に喜んで参加できるようにクリスマスにちなんだBGMを流したり、話題に取り上げたりする
- 球根の生長を楽しみに待てるように、すぐに目に触れることができる場所に水栽培した球根を置く
- 2学期を振り返ったり、3学期に期待をもったりしながら生活できるように、折に触れて話題として取り上げたり保育室の整頓をする機会を設けたりする
- ◎手や頬の冷たさを感じたり、吐く息が白いことに気が付いたりできるように、触れ合ったり声を掛けたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・コートを着てくる幼児が増えてくるので、かけやすいようかけひもをつけるよう伝える
- ・ボタンやファスナーの開閉を手伝ったり、自分でしようとする姿を見守ったりするよう伝える
- ・薄着にしてコートなどで調節することを伝える
- ・着替えの負担がないように着脱が手がかかるものは避けてもらうように伝える
- ・活動しやすいように、袖の長さに配慮してもらう
- ・個別懇談（一人一人の遊びの中での学び、生活習慣、今後の課題など）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・手洗いやうがいの大切さを知って、教師や友達と一緒にやる
- <安全>
  - ・冬休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、雪道の歩き方、迷子に注意など）を聞き守ろうとする気持ちをもつ
- <食育>
  - ・教師や友達と一緒に餅を食べることを楽しむ（もちつき体験）

意図的活動

- ・クリスマスのついでに向けての活動
- ・水栽培
- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・製作（クリスマスの飾り）
- ・持ち物の整頓や保育室の掃除

行事など

- ・もちつき
- ・クリスマスのついで
- ・終業のついで

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」「もちつき」「お正月」
- ・絵本など・・・「くまじいちゃんのクリスマス」「さんびきのくま」「3匹のこぶた」「7匹のこやぎ」
- ・紙芝居・・・「どうぞのいす」「くまのマックのプレゼント」
- ・素材・・・色画用紙、モール
- ・用具・・・はさみ
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス

幼児の姿

- ・冬休み明け、ほとんどの幼児は生活のリズムを取り戻しているが、中にはちょっとしたことでも泣いてしまったり、玄関からなかなか入って来なかったりする幼児もいる
- ・カルタやコマ、絵合わせカードなどで楽しむ幼児がいる
- ・遊具や素材などを自分なりに工夫して使い、遊びに取り入れようとする
- ・鈴やタンブリンなどの楽器を鳴らすことに興味をもっている幼児が、知っている曲に合わせて鳴らすことを楽しんでいる
- ・絵本のお話をもとに、劇遊びをすることを喜んでいる
- ・雪が積もると、戸外で雪遊びやそり遊びを楽しむ幼児が多い

ねらい

- ・日本の伝統的な行事に関心をもつ
- ・したい遊びや伝承遊びなど、いろいろな遊びを楽しむ
- ・教師や友達とともに生活する楽しさを味わう
- ・イメージを膨らませながらいろいろな表現を楽しむ
- ・冬の自然に興味をもち、見たり触れたりして遊ぶ

内容

- ・寒さに負けず元気よく過ごす
- ・雪遊びの身支度や後始末を自分でしようとする
- ・氷や雪に触れたり、そり遊びを楽しんだりする
- ・のびのび表現会について知り、期待しながら待つ
- ・困ったり泣いたりしている友達を手助けしたり、なぐさめたりする
- ・身近な遊具や用具、素材などを自分なりに工夫して使ったり、遊びに取り入れられたりする
- ・カルタやコマなど、正月遊びを楽しむ
- ・節分の行事について知り、参加する
- ・「おにはそと、ふくはうち」「せつぶん」などの言葉を知る
- ・絵本や紙芝居の繰り返しのある言葉やストーリーに関心をもち、聞く
- ・曲に合わせて歌ったり、楽器でいろいろなリズム打ちをしたりして楽しむ
- ・遊びに必要なものをつくったり、つくったものを使ったりしながらイメージを膨らませる
- ・興味のあるお話に合わせて劇遊びをする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎戸外に出て自然と触れ合いながら思い切り体を動かして遊ぶことができるように教師が率先して戸外に出て遊ぶ
- ◎雪遊びの身支度や後始末の仕方が分かり、自分でできることはしようとするように、やり方を教えたり自分でできたことを認めたりする
- ◎幼児が楽しんで楽器遊びをすることができるように、楽器を大切に扱えるように持ち方を教えながら、一人一人の表現を大切に
- ◎劇遊びを楽しめるように、教師も一緒に演じたり、雰囲気盛り上げるような曲をならしたりする
- 劇遊びを楽しめるように、面や小道具などを準備しておく
- ◎のびのび表現会についての話をし、自分なりに取り組もうという思いがもてるように、教師自らが楽しんで取り組む姿勢を見せる
- いろいろな雪遊びが楽しめるように、そりや絵の具、空容器などを使えるように準備しておく
- ◎冬の自然に興味をもつことができるように教師自身が敏感に自然事象に気づき、言葉や態度で伝えたり、幼児の発見と一緒に驚いたりする
- ◎カルタやコマなど、自由に取り出して遊べるように、コーナーを設置したり、一緒に遊ぶ時間を設けたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・学年懇談会 (3学期の見通し、のびのび表現会など)
- ・のびのび表現会にむけての活動では、好きな役を選べなかったり、面をつけたり台詞を言ったりすることに抵抗を示す幼児がいることを伝え、家庭と連携しながら、幼児が安心して活動に取り組めるよう配慮する

保健・安全・食育

- <保健>
- ・身体計測 (受け方を思い出し、進んで計測をする)
- <安全>
- ・避難訓練 (地震が起きた時には教師の指示を聞き、一緒に行動することを思い出す、非常用リュックについて知る)
- ・安全な雪遊びの仕方を知る

意図的活動

- ・正月遊び (カルタ、コマなど)
- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・製作

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測
- ・豆まきのつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「やぎさんゆうびん」「ゆき」「まめまき」
- ・絵本など・・・「しょうぼうじどうしゃじぶた」「てぶくろ」「おなかのなかにおにがいる」
- ・紙芝居・・・「くまくんはみかんがきらい?」「たべてみたいなおほしさま」
- ・素材・・・タフロープ
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス、雪、氷



幼児の姿

- ・かぜや感染症などが流行し始め、体調を崩す幼児が出てくる
- ・初めてののびのび表現会を楽しみにする幼児が多い
- ・のびのび表現会の練習を楽しみにする幼児は多いが、いつもの生活と違うため、些細なことで泣いたりいざこざになったりすることが多い
- ・合奏の練習では、音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、友達と同じ楽器を使ったりすることを楽しんだりしている
- ・劇の練習では、教師や友達と一緒に登場人物になりきったり、友達のしていることを見たりすることを喜んでいる幼児もいれば、気恥ずかしさが先に立って十分に楽しめない幼児もいる

- ・初めてののびのび表現会では、家族の人に見てもらい、「上手だったね」と誉められて自信をもった幼児が多い
- ・のびのび表現会がきっかけとなり、自分でプレイルームなどに行ったり、4、5歳児の遊びに興味をもちまねたりする
- ・プレイルームに飾られた雑壇飾りを喜んで見る幼児がいる
- ・戸外でのびのびと雪や氷に触れて遊ぶ幼児が多い
- ・水栽培の花が咲き始めたことで、その様子に関心をもって見ている幼児がいる

ねらい

- ・自分なりに自信をもつてのびのびと生活を進めていこうとする
- ・戸外でのびのびと遊ぶことを楽しむ
- ・日本の伝統的な行事に関心をもつ
- ・のびのび表現会を楽しみにし、練習に喜んで取り組む
- ・いろいろな表現をしながらイメージを膨らませる
- ・身近な自然の移り変わりに目を向ける

内容

- ・自分なりに生活の見通しをもつ
- ・体を動かす集団遊びを楽しむ
- ・なりたいものになり、ごっこ遊びを楽しむ
- ・気の合う友達とイメージや思いを共有しようとする
- ・教師や友達と一緒に劇遊びをする
- ・身近な遊具や用具などを自分なりに工夫して使ったり、遊びに取り入れられたりする
- ・雪や氷に触れたり、そり遊びなどをしたりする
- ・チューリップや水栽培した球根の生長を楽しみにする
- ・のびのび表現会について知り、期待しながら練習する
- ・のびのび表現会に喜んで参加する
- ・4、5歳児の劇や歌、合奏を見たり聞いたりする
- ・雑壇飾りを見たり、お雑壇の歌を歌ったりして桃の節句を楽しむ
- ・「もものせつく」「おひなさま」「おだいらさま」などの言葉を知る
- ・自分の思いを言葉で表現しようとする
- ・遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ
- ・遊びに必要なものをつくったり、つくったものを使ったりしながらイメージを膨らませる
- ・曲に合わせて歌ったり、楽器でいろいろなリズム打ちをしたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎体を動かす集団遊びをする楽しさを感じることができるよう、教師も一緒に体を動かして楽しむ
- ◎自分の思いを言葉で表現できるように、言葉の足りないところは教師が補ったり、代弁したりする
- ◎イメージを膨らませながら遊ぶことができるように幼児のイメージに付き合ったり新しい提案をしたりして、イメージを広げながらともに楽しむようにする
- ◎のびのび表現会のことを伝え、自分なりに取り組もうという思いがもてるように、教師自らが楽しんで取り組む姿勢を見せる
- ◎合奏や劇の練習を楽しめるように、一人一人の気持ちを受け止めるとともに励ましたり認めたりする
- 劇遊びが楽しくなるように小道具や大道具などを工夫し、提示する
- ◎初めての体験となるのびのび表現会では、それぞれの幼児なりの成長の節目となるように一人一人の頑張りを認めたり励ましたりしながら取り組む姿を見守る
- ◎のびのび表現会が終わった後も、表現会での経験を遊びに取り入れられるように、楽器や劇の小道具などを使いやすいように置いておく
- ◎友達同士のつながりを深めることができるように、思ったことや感じたことを伝えたり、友達の思いに気付いたりする機会を大切にする
- もうすぐ終了する5歳児にお祝いのお気持ちやお世話になった感謝のお気持ちをもつことができるように、5歳児と牛乳を飲んだり、弁当を食べたりする機会を設ける
- 気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように十分に時間を保障する
- 桃の節句に関心をもてるように、製作をしたり、歌を歌ったりする

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのび表現会に向けての練習が多くなると、遊ぶ時間が少なくなるとストレスを感じる幼児もいる。家庭と連携し、幼児が表現会を楽しみにしながら活動に取り組めるよう配慮する
- ・表現会の衣装の準備をお願いし、着替えが幼児の負担になりすぎないように配慮してもらう

保健・安全・食育

- <安全>
  - ・大型構成遊具の安全な使い方を知る
- <食育>
  - ・教師や友達と一緒に煮豆(ダイズ)を食べ、節分の豆まきを振り返る

意図的活動

- ・のびのび表現会に向けての活動
- ・製作(雑壇飾り)
- ・体を動かす集団遊び

行事など

- ・のびのび表現会

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」「ふしぎなポケット」「うれしいひなまつり」「空より高く」
- ・絵本など・・・「ねずみのおいししゃさま」「かさこじぞう」「ももたろう」「ころわんはおにいちゃん」「おなかのなかにおにがいる」
- ・紙芝居・・・「ねずみのせつぶん」「むかしむかしおにがきた」
- ・素材・・・折り紙
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス、雪、氷、チューリップ

幼児の姿

- ・身の回りの始末をきちんとしたり約束を守ろうとしたりするなど、もうすぐ年中組になるという期待をもって生活する幼児が増える
- ・友達と同じイメージで遊ぶことを楽しむと共に、次々とイメージを膨らませて遊ぶようになる
- ・いざこざが起きると、互いの思いを聞き出そうとしたり状況を把握しようとしていたりする幼児がいて、言葉のやりとりが増えてくる
- ・身近な素材でひな人形を作ったり、作ったひな人形を飾ったりすることを喜んでいる
- ・5歳児の修了に向けてプレゼントを作ったり、修了式の練習を見たりしたことがきっかけで、修了式というものに関心をもつ
- ・新しい3歳児が入園してくることを知り、はりきって保育室を飾ったり、ものをきちんと片付けたりしている
- ・チューリップの芽や天候の移り変わりに気付いたり興味をもったりする
- ・学級皆での体を動かす集団遊びを楽しむ幼児が増えてくる

ねらい

- ・自分なりに自信をもつてのびのびと生活を進めていこうとする
- ・進級することに期待をもって生活する
- ・修了式に関心をもつ
- ・教師や友達といろいろな遊びを楽しむ
- ・身近な自然に触れて、春の訪れを感じる

内容

- ・自分なりに生活の見通しをもちながら、自分でしようとする
- ・進級することを楽しみにする
- ・保育室をきれいに飾ったり、掃除をしたりして進級の準備をする
- ・なりたいものになり、ごっこ遊びを楽しむ
- ・教師や友達と体を動かす集団遊びを繰り返し楽しむ
- ・気の合う友達とイメージや思いを共有しようとする
- ・困ったり泣いたりしている友達を見て手助けしたりなくさめたりする
- ・遊びに必要なものを作ったり、作ったものを使ったりしながらイメージを膨らませる
- ・身近な素材を使って、春の花や生き物などをつくる
- ・日差しの暖かさ、チューリップの芽、木々の芽などに気付く
- ・5歳児が修了することを知り、プレゼントを作ったり修了式の練習を見たりする
- ・5歳児の修了を祝おうとする
- ・ひな人形を見たりひなまつりの歌を歌ったりして桃の節句を楽しむ
- ・遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ
- ・身近な遊具や用具などを自分なりに工夫して使ったり、遊びに取り入れたりする
- ・自分の思いを言葉で表現しようとする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎約束事などの必要性に気付かせるように声掛けをしていき、よい習慣が身に付くようにする
- ◎友達とイメージを膨らませながら遊ぶことができるように、必要に応じて幼児のイメージに付き合ったりアイデアを提供したりして、イメージの広がりをもたせようとする
- ◎学級での体を動かす集団遊びの楽しさを味わうことができるように、繰り返し、教師も一緒に楽しむ
- 春のイメージを楽しめるように、春の花や生き物などをつくる機会を設ける
- ◎もうすぐ進級することを楽しみに思ったり、喜んだりできるように、成長を振り返ったりともに喜んだりする
- ◎友達同士のつながりを深めることができるように、思ったり感じたりすることを伝えたり、友達の思いに気付いたりする機会を大切にする
- ◎思いを伝え合う楽しさを感じられるように言葉のやりとりを見守り、言葉の足りないところは教師が補ったりする
- 桃の節句を楽しめるように、作った雛飾りを飾ったりお雛様の歌を歌ったりする
- 3歳児なりに修了を祝おうとする気持ちがもてるように5歳児にプレゼントを作ったり、修了式の練習を見たりする機会を設ける
- もうすぐ進級するという期待をもって生活することができるように、新学期に新しい3歳児が入園することを伝え、保育室を飾ったりきれいに掃除したりしながら、新学期を心待ちにする雰囲気をつくる
- 日差しの暖かさや木々の芽ぶきに気付くことができるように、積極的に戸外に出たり、言葉や態度で伝えたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・個人懇談（1年間の振り返り、今後の課題など）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・体重測定（1年間の自分の成長を知る）
- <安全>
  - ・春休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、交通安全など）を聞く
  - ・避難訓練（避難時の約束、避難の仕方を確認する）
- <食育>
  - ・教師や友達と一緒にひな菓子（金花糖など）を食べる

意図的活動

- ・修了式練習の見学
- ・製作（春の生き物や花、5歳児へのプレゼント）
- ・入園式練習の見学
- ・体を動かす集団遊び
- ・プレイルームや園庭での遊び
- ・持ち物の整理整頓
- ・保育室の清掃

行事など

- ・修了式
- ・避難訓練
- ・体重測定
- ・終業のつどい
- ・離任式

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「うれしいひなまつり」「はるがきた」「ピクニック」「園歌」
- ・絵本など・・・「ころわんとふわふわ」「はなさかじいさん」「ぞうくんのブランコ」
- ・紙芝居・・・「ひなのやまかご」「きたなひめ」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・チューリップ

幼児の姿

- ・入園や進級を喜び、新しい生活にわくわくしながら登園する幼児がいる。一方、新しい環境に戸惑い不安な様子で登園してきたり、母親から離れられなくて登園を渋ったりする幼児もいる
- ・担任が一人しかいなくなる寂しさや、2年保育児と同じ生活を送る戸惑いなどを感ず、保健室や3歳児のときの担任のもとを訪れる幼児もいる（3年保育児）
- ・身近な遊具や素材などに興味をもち、関わって遊ぶ
- ・3歳児のときにしていた遊びや見ていた遊びを楽しんだり、仲良しの友達と一緒に遊んだりする（3年保育児）
- ・飼っている飼育物、草花などに触れることで安定する幼児がいる
- ・教師と一緒に2年保育児に生活の仕方を教えたり、言葉を掛けたり、関わろうとしたりしている（3年保育児）
- ・3歳児のとき、同じ学級だった仲の良い友達と学級が離れ、戸惑いながらも、したい遊びなどでは一緒に遊びをすすめていく姿が見られる（3年保育児）
- ・3年保育児の遊ぶ様子や身支度の仕方などを見て、まねしようとしている（2年保育児）
- ・遊びの場で、3年保育児が遊んでいる様子を見て、一緒に遊ぶ姿が見られる。一方、その様子に戸惑い何をして遊べばよいか分からず、困っている幼児もいる（2年保育児）
- ・園庭やテラスで遊んでいる5歳児を見て、外での遊びに興味をもち始める

ねらい

- ・新しい園生活を知り、安心して過ごす（2年保育児）
- ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす（3年保育児）
- ・新しい保育室でのきまりや約束を知り、守ろうとする
- ・新しい教師や友達と触れ合い、親しみをもつ
- ・好きな場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・春の自然に親しむ

内容

- ・喜んで登園する
- ・元気に挨拶や返事をする
- ・新しい生活に必要なきまりや約束を知り守ろうとする
- ・保育室の使い方や安全な生活の仕方を知る
- ・園でのおおまかな一日の流れを知る
- ・自分の学級や担任、友達の名前を覚える
- ・自分でできることは自分でしようとする
- ・教師や友達と触れ合い、親しみをもつ（2年保育児）
- ・教師や気の合う友達と一緒に遊ぶ（3年保育児）
- ・気に入ったものや場所を見つけて遊ぶ
- ・保育室や園庭の環境を知る
- ・遊具や用具の名前や使い方を知る
- ・春の自然に興味をもち関わる
- ・5歳児と一緒に散歩に出掛ける
- ・こいのぼりのつどいに参加する
- ・教師の話をおもしろいと思って聞く
- ・園生活に必要な言葉を知り話す
- ・友達と一緒に絵本や紙芝居などを楽しく見る
- ・教師や友達と歌を歌ったり手遊びをしたりして楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 新しい保育室に親しみをもち喜んで登園できるように、保育室を春らしく飾り、明るい雰囲気をつくる
- ◎新しい園生活に慣れ、安心して過ごすために、毎日の生活の具体的な場面できまりや約束を知らせていく
- ◎身の回りの生活習慣が身に付くように、自分でできることは幼児に任せるようにし、必要に応じて教師が手助けする
- ◎安心して過ごすために、その幼児なりの育ちを考慮しながら関わり、新しい生活にその幼児なりのペースで親しむことができるようにする
- ◎2年保育児が3年保育児の遊びに加わるように、教師も一緒になって遊ぶ（2年保育児）
- 自分の学級の友達や教師に親しみをもち、触れ合うことができるように自分の保育室で遊ぶ
- 安心して遊ぶことができるように保育室に慣れ親しんだ遊具や素材を用意したり、コーナーをつくったりしておく
- ◎幼児の不安な思いを受け止める（3年保育児）
- ◎安心して遊んだり生活したりできるように優しく言葉を掛けたり、スキンシップをはかったり、一緒に遊んだりする
- ◎学級の皆が集まると楽しい、と感じられるように歌を歌ったり、絵本を見たり、手遊びしたりする
- 友達や生活グループに関心をもつように、グループ表と名札に顔写真を貼る
- 園生活のリズムをつかみ、簡単な見通しをもったり安心して過ごしたりできるように、毎日の生活の流れを生活予定表に示しておく
- 自分が使った物を自分で片付けることができるように、片付ける場所を絵や写真で示しておく

家庭との連携・地域との連携

- ・入園式の日に、保護者と一緒に学級や番号を確認し、靴箱やロッカーの場所などを知らせる（2年保育児）
- ・弁当についてのお知らせを通して、準備の仕方を具体的に知らせていく
- ・園での様子を心配する保護者の思いを受け止め、降園時などに園での幼児の様子を伝えていく
- ・学年懇談会（1年間の見通しや学年目標、ねらい、緊急お迎え訓練についてなど）
- ・非常用リュックについて、保護者に伝え、準備をしてもらう（2年保育児）
- ・非常用リュックを準備してもらう（3年保育児）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・園でのトイレの使い方を知る
  - ・うがい手洗いの仕方を知る
  - ・弁当後の歯みがきの仕方を知る
  - ・身体計測（計測場所での待ち方、自分の名前を伝えるなど）
- <安全>
  - ・遊具や用具の使い方を知る
- <食育>
  - ・牛乳時の用意の仕方や飲むときのマナーを知る
  - ・弁当時の用意の仕方や弁当の食べ方、食べるときのマナーを知る

意図的活動

- ・園での生活の仕方の指導（トイレ、手洗い、ロッカー引き出し、透明引き出し、靴箱の使い方、傘立ての使い方、足の洗い方、運動服への着替え方、スモックの使い方）
- ・保育室やプレイルーム、園庭の遊具の使い方の指導
- ・2年保育児と3年保育児が関われる仲良しゲームなど
- ・キャンパス内散歩（5歳児と）
- ・幼稚園探検（各学級）
- ・こいのぼりのつどいに向けての活動（こいのぼり作り、名前決め）
- ・製作用具の使い方の指導（のり、下敷き紙、手拭タオル、粘土、製作カーペット）

行事など

- ・始業のつどい
- ・入園式
- ・創立記念日
- ・身体計測
- ・こいのぼりのつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」「春をみ一つけた」「ちいさな庭」「そらとべあおむしくん」「はるはともだち」「ちいさないのち」「こいのぼり」「はるですよ」
- ・絵本など・・・「ぐりとぐらのえんそく」「みんないるかな」「あくしゅでぎゅつ」
- ・紙芝居・・・「みんないるかな」「どうしてこいのぼりあげるの」
- ・素材・・・新聞紙、広告紙、色画用紙、箱、包装紙、段ボール片
- ・用具・・・セロハンテープ、クレヨン、マジック、はさみ、布ガムテープ、のり
- ・自然、栽培・・・ザリガニ、チューリップ、タンポポ、クローバー、サクラ、スマイル

幼児の姿

- ・新しい生活に慣れ、安心して過ごせるようになる。登園後など、生活予定表に示した1日の予定に興味をもつ幼児が増えてくる
- ・自分なりにしたい遊びや気に入った場所を見つけたり、気の合う友達や教師と一緒に過ごしたりすることで、安心して過ごしている
- ・同じ場や遊具などで遊ぶことをきっかけに3年保育児と2年保育児の関わりが徐々に多くなる。学級の枠をこえ、お互いに行き来しながら遊ぶようになる
- ・教師と一緒に遊ぼうとしたり、教師の投げ掛けた遊びに興味をもって取り組もうとしたりする
- ・教師が投げ掛けた遊びのイメージをもって遊ぶことを楽しむ幼児が多い
- ・教師が提示した素材や遊具などに積極的に関わろうとする。また、新しく使えるようになった遊具や場に慣れ、自分から関わろうとする

- ・これまでの遊びを思い出しながら、自分なりに力を試したり、イメージをもったりしながら、園庭の固定遊具や砂場などで遊ぶ幼児が多い(3年保育)
- ・友達に自分の思いを言葉で伝えようとする姿が見られるようになる。中には、相手に上手く伝えられず、戸惑ったり、手が出てしまったり、言葉遣いがきつくなったりする幼児もいる
- ・裸足で園庭に出ることや気になる場所や遊具で遊んでもよいということに戸惑っている幼児もいる(2年保育)
- ・かいたりつくったりした物などを教師に見せに来たり、自分の作った物を翌日も持ってきたりする
- ・園庭の草花や虫をよく見たり触れたりしている

ねらい

- ・教師や友達に親しみを持ち、触れ合いながら園生活を楽しむ
- ・気に入った場所やしたい遊びを見つけて遊ぶ
- ・教師や友達と一緒に活動することを楽しむ
- ・園庭の自然に興味を持ち、遊ぶ

内容

- ・園での生活の仕方が分かり、自分でできることは自分でしようとする
- ・したい遊びを見つけて遊ぶ(3年保育)
- ・気に入った場所や遊具を見つけて遊ぶ(2年保育)
- ・戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ
- ・使った物を片付け、きれいになった居心地のよさを感じる
- ・教師や友達と触れ合ったり、遊んだりすることを楽しむ
- ・皆と一緒に過ごす時間を楽しむ
- ・自分なりにイメージしたものになりきって遊ぶ
- ・教師が提示した環境に興味をもって関わる
- ・砂、泥、水などの感触を味わう
- ・風が吹く様子を見たり、風を感じて遊んだりする
- ・草花や虫などの自然物を集めたり、つかまえたりする
- ・春の遠足を楽しむ
- ・教師や友達の話を楽しみをもって聞く
- ・自分のしたいことを言ったり、分からないことを尋ねたりする
- ・遊びの中で自分の思いを動作や言葉で表す
- ・身近な用具や素材などでかいたり、つくったりすることを楽しむ

環境の構成(○)と教師の援助(◎)

- したい遊びを見つけて楽しめるように、製作コーナー、ままごとコーナーなどを設けたり、慣れ親しんだ遊具や素材を提示したりする
- ◎戸外での遊びや園庭の自然に目が向くように教師も積極的に戸外に出る
- ◎自分の思いを動作や言葉で表せるように思いを受け止めたり、代弁したりする
- 学級の皆で楽しく過ごせるように、皆で同じ物を作ったり、歌を歌ったりする場を設ける
- 一緒に活動することの楽しさを感じられるように、友達同士で触れ合える手遊びや体表現を取り入れる
- ◎自分達が気持ちよく過ごせるように教師も一緒に仲間になって遊びながら、場のつくり方や使い方、物の扱い方などを知らせていく
- ◎一人で扱えない遊具は、使って遊ぶ楽しさを感じられるように一緒に使いながら扱い方などを知らせていく
- ◎教師や友達と同じイメージをもって遊ぶ楽しさが味わえるように、教師と一緒に遊びながらモデルとなったり、場を盛り上げたりする
- してほしいことや、困っていることなどが上手く伝えられない幼児には、表情などからその気持ちを察したり、話をゆっくり聞いたりする場を設ける
- かいたり、つくったりする楽しさが味わえるように、包装紙、空き箱などの素材をいつでも使えるように出しておき、要求に応じて補充できるようにしておく
- ◎5歳児のまねをして挑戦しようとしている幼児の思いを認めながら、状況に応じて制したり、教師間の連絡を密にしたりしていく

家庭との連携・地域との連携

- ・園庭で泥だらけになって遊ぶよさを伝え、後始末のためのビニール袋や着替え袋の中身の補充をお願いする
- ・自分で脱ぎ着できる服装にしてもらう(ボタンの数や大きさ、位置。コートのかけひもなど)
- ・自分の物を自分で管理できるように、すべての物に記名を徹底してもらう
- ・エプロンと運動服のポケットに、ティッシュとハンカチを毎日入れるようにお願いする
- ・参観日には、保護者から離れられず、遊びの時間をずっと側で過ごす幼児の保護者には、心配する気持ちを受け止め、日ごろの様子を伝える
- ・製作や砂遊びなど一人で遊びに没頭する姿を見て心配している保護者に対して、その遊びで学んでいることや、教師がどのように見取っているか、今後の見通しなどを伝えていく

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・トイレのスリッパの使い方を知り、次の人が使いやすいように並べる
  - ・運動服が砂や泥や水で汚れたときの着替えや後始末の仕方を知る
  - ・足洗いの仕方や大切さを知る
  - ・視力検査・聴力検査(正しく検査をしようとする、検査室では静かに待つ)
  - ・内科検診(検診をする、自分の名前をはっきり言う)
- <安全>
  - ・公道の安全な歩き方を知り、守る
  - ・避難訓練(避難放送を座って静かに聴く、避難時の3つの約束を知る、「かしわぎコース」を知る)
- <食育>
  - ・夏野菜の苗をプランターで育て、野菜の生長に興味をもつ

意図的活動

- ・ロッカーなどの使い方の確認
- ・風を感じる遊び(風車、凧、紙飛行機)
- ・製作(遊びのアイテム)
- ・壁面製作(誕生表やクラスのイメージに合わせて)
- ・園外保育
- ・体表現遊び
- ・小学校の運動会見学
- ・野菜の苗植え
- ・学級の皆で同じイメージをもてる遊び

行事など

- ・春の遠足(5歳と)
- ・避難訓練
- ・内科検診
- ・視力検査
- ・聴力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「みどりのマーチ」「おひさまパワー」「手のひらを太陽に」「とんとんとんとんひげいさん」「ちいさな庭」「こいのぼり」「おつかいありさん」
- ・絵本など・・・「999ひきのかえる」「おたまじやくしの101ちゃん」「ちよっとだけ」
- ・紙芝居・・・「さっちゃんのカーネーション」
- ・素材・・・タフロープ、プラスチック容器、ビニールテープ
- ・用具・・・ゆびのり、ボンド、水性マジック
- ・自然、栽培・・・アリ、ダンゴムシ、ツツジ、フジの花、ヒメジョオン、カラスノエンドウ、ミニトマト、キュウリ、ゴーヤ、トウモロコシ

幼児の姿

- ・教師や友達と同じ物を作ったり、同じ物を身に付けたりしながら、同じイメージをもって遊ぶことを楽しむ幼児の姿が見られる。しかし、自分中心に遊びをすすめる幼児もあり、同じ場においてもイメージがバラバラであることが多い
- ・友達と一緒に遊びたい気持ちはあるのだが、遊びの中で自分の思いを相手に言葉で十分に伝えることができず、叩くなどの行為で表したり、自分の心の中で葛藤したりしている姿が見られる
- ・教師や友達の作った物を見て興味を示し、ヒーローやヒロインごっこ遊びに必要なものを作ったり、作った物を使って遊ぼうとしたりする
- ・教師や友達と一緒に園庭やテラスに大型遊具を運んで遊びの場をつくり、使って遊ぼうとする幼児が増えてくる
- ・友達と一緒に砂場に山や川をつくったり、桶に水を流したり泥団子作りをしたりする幼児がいる
- ・砂・泥・水の感触を楽しんだり、遊びに生かそうとしたりする姿が見られる。また、体全体で砂水や泥水の中につかり、泥んこになって遊ぶことを楽しむ姿も見られる。一方で砂の感触や汚れることに抵抗がある幼児もいる
- ・園庭の生き物を見つけようと築山やプール周辺の草むらを探して回っている。作った虫かごに入れて大事にしたり、どうやって持ち帰るか考えたりする姿も見られる
- ・5歳児の遊びに憧れ、まねようとする幼児がいる。うまくいかず、困って5歳児に聞いたり入れてもらったりする姿も見られる

ねらい

- ・教師や友達と一緒に遊んだり活動したりすることを楽しむ
- ・身近な遊具や素材などを自分の遊びに取り入れて遊ぼうとする
- ・梅雨の自然や動植物に興味や関心をもつ

内容

- ・興味をもったものや遊びに自分から関わる
- ・自分でできることは自分でしようとする
- ・教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- ・皆で一緒に過ごす時間を楽しむ
- ・友達を名前で呼ぶ
- ・教師や友達と一緒にイメージしたものになりきって遊ぶ
- ・遊びに必要なものを作ったりそれを使って遊んだりする
- ・砂、泥、水などの感触を味わいながら遊ぶ
- ・七夕の由来を知り、短冊や飾りを作る
- ・見つけた虫や草花を、絵本や図鑑で調べたり飼育したりすることに興味をもつ
- ・教師や友達の話を聞いたり、自分の思ったことを話したりする
- ・遊びの中で自分の思いを言ったり、相手の思いに気付いたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 友達とより親しめるように、名前を呼んだり、スキンシップしたりする活動を設定する
- ◎いざこざが起きたときなど、自分の思いを自分なりに表現している様子を認め、互いの思いを聞き合ったり、気持ちを伝えたりするように代弁したり仲立ちしたりする。場合によっては、どうしたらよいかを一緒に考える
- ◎教師がモデルとなって遊びのイメージをもつことができるようにしたり広げたりする
- 学級の皆で楽しく過ごすことができるように、皆で同じ物を作ったり、歌を歌ったり、ゲームをしたりする
- 自分から物や場所に関わって遊べるように、製作コーナーの素材や用具を使いやすく整理しておく
- 友達と同じ物を作ることができるように、素材を十分に準備しておく
- ◎大型構成遊具を使って遊ぶ幼児には、安全に留意しながら使うように促す
- 園庭の自然に目が向くように教師も園庭に出て一緒に遊んだり、自然を利用した遊びを提示したりする
- 捕まえた生き物、採ってきた草花を観察したり観賞したりするコーナーを設ける

家庭との連携・地域との連携

- ・衣替えを機会に、着替え袋の中身を薄着にしてみよう
- ・汗ふきタオルの使用が増えるため、毎日持って帰り、次の日に持ってきてもうよう伝える
- ・水遊びについてのおたよりを配布し、準備の仕方を知らせる（2年保育にはスイムキャップを配布する）
- ・友達と遊んでいないことを心配する保護者に、一人でもじっくりとものと関わって遊ぶ大切さを伝えていく
- ・いざこざが増えてくるが、いざこざを通して幼児が学んでいることやその場で援助する教師の願いを伝えていく
- ・緊急お迎え訓練を通して、緊急時の行動の仕方を具体的に知らせる
- ・日曜参観日には普段通りの生活を行い、平日見にくることが難しい保護者の方にも、幼児の園での様子を見てもらう
- ・親子歯磨き講習会を開き、仕上げ磨きの大切さを理解してもらう

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・汗をたくさんかいたり、水で濡れたり泥だらけになったりしたときの始末をする
  - ・親子歯磨き講習会で、保護者と一緒に歯みがきすることで、歯みがきの仕方に関心をもつ
  - ・体重測定（自分の体重の変化を知る）
  - ・歯科検診、耳鼻科検診、眼科検診（自分の名前を言って、静かに受ける）
- <安全>
  - ・避難訓練（地震が起きたときの様子や地震が起きたときの避難の方法を知る、緊急時お迎えの仕方を知る）
- <食育>
  - ・食事のマナーを守り、弁当を食べる

意図的活動

- ・学級の皆で楽しめる遊び  
（名前を呼ぶ、スキンシップができる）
- ・雨の中の散歩（傘のさし方、雨の日の歩き方など）
- ・製作（短冊、七夕飾り）

行事など

- ・日曜参観
- ・避難訓練
- ・親子歯磨き講習会
- ・体重測定
- ・歯科検診
- ・耳鼻科検診
- ・眼科検診

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「ひっこしかたつむり」「のねずみ」「大きい手をしたお父さん」「ぼくのおとうさん」「歌えバンバン」「かえるのがっしょう」「あめふりくまのこ」「とけいのうた」「しゃぼん玉」「かたつむり」「アブラハムと7人の子」「カレーライス」のうた
- ・絵本など・・・「どろだんご」「お父さんの大きい手」「ねえ、とうさん」「ババカレー」「はははのはなし」
- ・紙芝居・・・「ばばだいすきさ」
- ・素材・・・プラスチック容器、段ボール板
- ・用具・・・段ボールカッター
- ・自然、栽培・・・パツタ、カマキリ、カタツムリ、ミニトマト、アジサイ、ヒメジョオン、メダカ、カエルアメンボ、ミミズ、ダンゴムシ、カラスノエンドウのたね

幼児の姿

- ・プールに入ること喜び、積極的にプール遊びを楽しむ幼児が多い。中には、体を洗うシャワーを怖がったり、プールに入ること拒んだりする幼児もいる
- ・担任や学級の友達に慣れ親しみ、安心して自分を出せるようになる。それに伴い、思いのすれ違いによるいざこざが多くなる
- ・水鉄砲、色水遊びなど、水を使った遊びを楽しむ幼児が多くなる
- ・5歳児のしている遊びに興味をもち、関わろうとしたり、同じことをしようとしていたりする姿が見られる
- ・自分たちの力で大型構成遊具を組み立てたり片付けたりできるようになり、基地や家などをつくって遊んでいる
- ・育てている野菜の実が変化していることに興味をもち、生長を楽しみにしている幼児もいる
- ・持ち寄った生き物や園の生き物に興味関心を示し世話をしたがる幼児がいる
- ・教師と一緒に飼育物の餌やりをしたり、掃除をしたりすることで、生き物を身近に感じたり、愛着をもったりする姿が見られる

ねらい

- ・教師や友達と一緒に遊んだり活動したりすることを楽しむ
- ・水を使った遊びを十分に楽しむ
- ・七夕に関心をもち、いろいろな活動を楽しむ

内容

- ・水遊びやプール遊びの仕方や約束などを知る
- ・教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- ・自分でできることは自分でしながら生活する
- ・友達のしている遊びに興味をもち、関わろうとする
- ・5歳児のしている遊びに興味をもつ
- ・水、砂、泥を使った遊びを全身で楽しむ
- ・七夕、星などに興味関心をもち
- ・七夕や星に関する紙芝居や絵本などを見てイメージを豊かにする
- ・身近な小動物や植物に目を向け、興味をもって見たり、触れたり、遊んだり、世話をしたりする
- ・1学期が終わることを知り、夏休みを楽しみにする
- ・遊びの中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞こうとしたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、体表現をしたりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎気持ちよさを伝えられるように、教師も一緒に水、砂、泥を使った遊びを楽しむ
- プール遊びや泥んこ遊びなどの着替えや持ち物の始末がしやすいように、幼児の動線を考えながら収納場所や着替える場所を設定していく
- ◎それぞれがプール遊びを楽しめるように、一人一人の水の慣れ具合を把握する。水が怖い幼児には、安心して遊ぶことができるように、教師が抱いて一緒に入るなどする
- ◎友達と一緒に、同じ物を作りたいという思いに応えられるように素材は十分に準備しておく
- ◎いざこざが起こったときは、互いの思いを聞き合ったり、気持ちを伝えたりできるように仲立ちしたり代弁したりする
- ◎友達と一緒に体表現を楽しむことができるように、ともに歌やダンスを楽しむ
- ◎身近な動植物に触れる中で個々の幼児の発見や驚きを受け止め、取り上げ学級全体に伝えていく
- 七夕に興味をもてるように、七夕や宇宙に関する絵本などを幼児の目に触れやすい所に置いておく
- 幼児の目に触れる所に笹竹を飾っておき、個々に作った笹飾りが自由に飾れるようにしておく
- 笹飾りが自由に作ることに必要な材料を使いやすいように準備しておく
- ◎大型構成遊具を安全に扱うことができるように、周りに気を付けるように促す。また、散らかった場を整理するように声を掛け広める

家庭との連携・地域との連携

- ・自分で水遊び後の始末ができるようにタオルなど扱いやすい物を用意してもらう
- ・けがや病気の予防のため、耳掃除や手足の爪を短く切ることを知らせる
- ・学年懇談会（進級、入園からこれまでの生活の様子やこれからの課題を伝える、夏休み中に規則正しい生活を送るよう伝える）
- ・個別懇談（4月からの園での様子を伝える、保護者と互いに幼児の理解に努める）
- ・夏休みのすみれさくらサマー体験について確認する

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の大切さを知り、すすんで行う
  - ・汗の始末、うがい、水分補給の大切さを知る
  - ・足がたをとり、自分の土ふまずの形成の様子や裸足で過ごすことのよさを知る
- <安全>
  - ・プール遊びの約束を知る（準備体操・シャワーの仕方、プールサイドを走らないなど）
  - ・夏休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、水の事故に注意、知らない人についていけないなど）を聞く
  - ・避難訓練（不審者が園に現れたときの行動の仕方を知る）
- <食育>
  - ・夏野菜の生長や収穫を楽しむ

意図的活動

- ・水を使った遊び（シャボン玉、船作り、洗濯遊び、水鉄砲、風鈴作りなど）
- ・プール遊び（プールの入り方、水着への着替え方、体操の仕方）
- ・七夕のつどいに向けての活動（歌、踊りなど）
- ・持ち物の整理整頓
- ・保育室の掃除や遊具の整頓

行事など

- ・七夕のつどい
- ・足がたとり
- ・終業のつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「たなばた」「宇宙は楽しいフェスティバル」「天の川の上で」「たなばたさま」「あんたがたどこさ」「宇宙船の歌」「園歌」
- ・絵本など・・・「スイミー」「10びきのかえるのなつまつり」
- ・紙芝居・・・「ねがいごとはないしょのひみつ」「たんざくにお願いかいて」「たなばたウキウキねがいごとの日」
- ・素材・・・折り紙、モール、紙コップ
- ・用具・・・絵の具
- ・自然、栽培・・・夏野菜の収穫、バッタ、カマキリ、カブトムシ、セミ

幼児の姿

- ・1学期に楽しんだ遊びを繰り返しながら、友達と一緒に過ごす園生活のペースを取り戻している
- ・のびのびフェスティバルに向けての取り組みを通して運動的な遊びにも興味をもち、自分たちの遊びに取り入れて楽しんでいる
- ・気の合う友達同士でイメージを共有しながら、お家ごっこや基地ごっこを楽しんでいる
- ・砂場では汚れを気にせず全身で砂や泥に触れて遊ぶ姿が見られる。友達と考えを出し合ったり、協力したりしながら、水路や池、山などをダイナミックに作っている
- ・製作コーナーの素材を利用して遊びに使うものを作ろうとする姿が多く見られるようになる
- ・5歳児と一緒に、餌をやったり、掃除をしたりするなど飼育当番の仕事をするなどで、生き物を身近に感じたり、4歳児なりに責任をもって取り組もうとしたりする姿が見られる

ねらい

- ・友達と一緒に活動する楽しさを味わう
- ・戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ
- ・園庭の動植物に触れて遊びながら、季節の変化を感じる

内容

- ・いろいろな運動遊びに興味をもって友達や教師と一緒に取り組む
- ・プール遊びの約束を守り、楽しむ
- ・戸外でカー杯体を動かして遊ぶ
- ・気の合う友達や教師と一緒に遊びの場をつくって過ごすことを楽しむ
- ・友達や教師ともの（製作物、遊具など）を媒介にイメージを共有して遊ぶ
- ・身近な素材で作った物を身に付け、なりたいたいものになりきって遊ぶ
- ・遊びに必要な場をつくり、それらを利用して遊ぶ
- ・砂や泥に全身で関わって遊ぶ
- ・園庭や築山の生き物を探したり、捕まえたりする
- ・のびのびフェスティバルがあることを知り、期待したり楽しみにしたりする
- ・様々な国旗に興味をもつ
- ・園の飼育物に興味をもつ
- ・したこと、見たこと、聞いたことなどを話す
- ・友達に自分の考えや思いを言葉で伝えようとする
- ・リズムカルな音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎カー杯走ったり、体を動かしたりする楽しさに気付けるように、教師自らが積極的に戸外に出て遊ぶ
- ◎遊びの様子を見ながら休息や水分補給、汗を拭くことなどの必要性を知らせる
- ◎水を使って遊ぶ心地よさが感じられるように、教師も一緒にプール入って水遊びを楽しむ
- ◎イメージを共有して遊ぶ楽しさが感じられるように、教師も一緒に遊びながら幼児同士のイメージをつなげる
- ◎友達や教師と一緒に活動する楽しさを味わえるように、音楽に合わせて体を動かしたり、なりたいたいものになったり、簡単なきまりのある遊びをしたりする
- 作って遊ぶ楽しさがより広がるように、これまで触れ親しんだ素材や用具を使いやすいところに提示しておく
- ◎大型構成遊具を使って、自分たちのイメージに合った場をつくれるように、教師も一緒につくったり、作った物で遊んだりする
- ◎身近な素材や用具を使うときには、自分で作ろうとする姿を応援しながら、難しいところは手を添えたり、コツを教えたりしていく
- 捕まえた虫を調べたり飼ったりできるように、図鑑や飼育箱を準備しておく
- 幼児の興味関心が湧くように、イメージを共有しやすい音楽や話題などを提示する

家庭との連携・地域との連携

- ・水筒の飲み物の量や汗ふきタオルの交換などについて伝え、準備してもらう
- ・学年懇談会（2学期の見通し、のびのびフェスティバルにむけて、休日の飼育当番のお願い など）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・気温の高い日には、自ら水分補給や汗の始末を行う
  - ・目を大切にする（目をこすらない、暗いところで絵本を読まない、目の周りに物を近づけない）
  - ・身体計測（体重の増加を体感する、成長を喜ぶ）
  - ・視力検査（正しくを受けようとする）
- <安全>
  - ・避難訓練（「けやきコース」の避難の仕方を知り、園庭に避難する、二次避難の方法を知る）
- <食育>
  - ・ダイコンの種まきを通して野菜の種からの生長に興味をもつ

意図的活動

- ・生活グループ表作り
- ・プール遊び
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動
- ・製作（のびのびフェスティバルの小道具づくり、万国旗など）

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測
- ・視力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「とんぼのめがね」「元氣だよ」「むしのこえ」「パワフルパワー」「かけっこファイト」「はしるのだいすき」
- ・絵本など・・・「とんぼのうんどうかい」「からすのぼんやさん」「へんてこやまのうんどうかい」「せかいのこっき」
- ・紙芝居・・・「まほうのこなぐすり」「うんどうかいってたのしいな」
- ・素材・・・カラー一段ボール紙、不織布
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・藤の実、バッタ、コオロギ、カマキリ、ヨウシュヤマゴボウ、ダイコン

幼児の姿

- ・天候のよい日には積極的に戸外へ出て、活発に動き回ったり、体を動かして遊んだりする幼児が増えてくる
- ・のびのびフェスティバルを楽しみにし、いろいろな練習に取り組んでいる
- ・のびのびフェスティバルに向けての取り組みなどがきっかけで、これまであまり関わりのなかった友達とつながりをもとうとする幼児や、隣の学級に関心をもつ幼児が増えてくる
- ・のびのびフェスティバルでの5歳児のリレーやリズム表現を見て憧れの気持ちを抱き、5歳児のまねをして楽しむ姿も見られる
- ・友達や教師と一緒に大型構成遊具を組み合わせて自分たちの基地をつくらうしたり、自分たちの遊びに取り入れて遊んだりする姿が見られる
- ・思いのくい違いや互いに譲らないことなどが原因でいざこざが起きる
- ・園庭の草花や木の実、虫などを集めたり捕まえたりすることを楽しんでいる
- ・5歳児と一緒に餌をやったり掃除をしたり、飼育当番との仕事をする中で飼育物に親しみをもつ姿が見られる

ねらい

- ・友達と一緒に戸外でカー杯体を動かして遊ぶ楽しさを味わう
- ・友達と思いを出し合いながら遊ぶ
- ・身近な秋の自然に関心を持ち、動植物に触れ親しむ

内容

- ・園庭の固定遊具や構成遊具などを利用していろいろな運動遊びを友達と一緒に楽しむ
- ・友達とアイテムなどの物や場を媒介としてイメージを共有しながら遊ぶ
- ・友達と一緒に、遊びに必要なものや場を準備したりつくったりする
- ・友達と一緒にのびのびフェスティバルに向けて取り組む
- ・指示や合図を理解し、行動する
- ・5歳児に教えてもらったり、まねたりしていろいろなことに関心を広げる
- ・園庭の草花や木の実、虫を探したり、捕まえたりすることを楽しむ
- ・5歳児と一緒に、園の飼育物に触れたり世話をしたりして親しみをもつ
- ・友達に自分の考えや思いを言葉で伝えようとしたり、友達の思いを聞いたりしようとする
- ・友達と一緒にリズムカルな音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ
- ・自分のイメージをいろいろな方法で表現したり、実現しようとしたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎きまりを守って遊ぶ面白さに気付けるように、遊びの中で生まれてきたきまりを教師が周りの幼児に伝えたり確認したりする場をもつ
- ◎遊びをつくっていく楽しさに気付くことができるように、教師も一緒に遊びに必要なものや場をつくる
- これまで触れ親しんだ素材や用具を幼児の使いやすいところに提示しておく
- のびのびフェスティバルで興味をもったことが再現できるように、のびのびフェスティバルで使った用具などを自由に使えるように出しておく
- ◎友達とイメージを共有しながら遊ぶことができるように、相手の思いを聞くように促したり、相手に自分の思いを伝えようとするのを支えたりする
- ◎いざこざが起きたときには落ち着いて話し合う場を設ける。その上で、互いの思いを伝え合えるように言葉を掛けたり、相手の思いを代弁したりする
- 秋の自然物に興味関心をもてるように、捕まえた虫など、秋の自然物を展示するコーナーを設ける
- 教師や友達とイメージを共有しながら遊べるように、必要なものや場をつくることができるよう幼児のイメージに合った素材や用具を準備しておく
- ◎園の飼育物に親しみをもち、積極的に世話を行えるように幼児のつぶやきや思いを聞き受け止める

家庭との連携・地域との連携

- ・衣替えについて伝える
- ・着替え袋の中身を気候に合わせて交換してもらいように伝える
- ・家庭でものびのびフェスティバルが楽しみになるように、競技種目の中に親子で触れ合ったり力を合わせたりしながら進めていく種目を設定する
- ・幼児同士の関わりが多くなっていく反面、いざこざが増えてくる。必要に応じて、保護者にいざこざを通して学んでいることやこれからの課題などを伝え、一緒に育てていこうとする気持ちを促す
- ・鍵盤ハーモニカの購入について知らせる

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・歯みがきをていねいにしようとする
- <安全>
  - ・公道の歩き方や横断歩道の渡り方を確認する

意図的活動

- ・のびのびフェスティバルに向けての活動 (競技、表現)
- ・運動遊び
- ・壁面製作 (秋の自然など)
- ・飼育当番の引継ぎ

行事など

- ・のびのびフェスティバル
- ・秋の遠足

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「くりのみロック」「どんぐりころころ」「わいわい運動会」「やきいもグーチャーパー」「きのこ」
- ・絵本など・・・「あしたえんそくだから」「だんまりこおろぎ」「ねずみのえんそく もぐらのえんそく」「よーいどん!」「うんどうかいがはじまった」
- ・紙芝居・・・「おちばのようふくくださいな」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ドングリ、コオロギ、カマキリ、カキ、ホオズギ、オナモミ、イヌタデ



幼児の姿

- ・遊びの中で友達に興味をもったり、自分の思いや考えを聞いてもらおうとしたりする姿が見られるようになる
- ・身近な素材を工夫して遊びに必要なものを作ったり、友達と一緒に大型構成遊具などを組み合わせて遊びの場をつくりたりして遊ぶようになる
- ・飼育当番ができることに喜びを感じ、自分たちで餌をやったり掃除をしたりする
- ・なかよしウィークで同じグループだった3歳児や5歳児のしている様子に興味をもったり声をかけたりする姿が見られる
- ・園庭の草花や木の実を取り入れて遊ぶことを楽しんでいる
- ・異年齢児に親しみをもち、遊びに加わったり声をかけたりし、一緒に遊ぼうとする幼児もいる

ねらい

- ・友達と一緒にいろいろな遊びを楽しみ、興味関心を広げる
- ・身近な遊具や素材などを使い、工夫して作ったり、作った物を使って遊んだりすることを楽しむ
- ・異年齢の友達やいろいろな人と触れ合い、親しみをもつ
- ・身近な自然の変化に興味をもち、動植物に触れ親しむ

内容

- ・気の合う友達と一緒にしたい遊びを楽しむ
- ・遊びに必要なものを準備したり、つくったりする
- ・身近な素材を使い、工夫したり試したりして遊ぶ
- ・身近な遊具や素材などに親しみ、安全な使い方や遊び方を知る
- ・木の葉や木の実など自然物を使って遊ぶ
- ・異年齢児や親と触れ合いながら遊ぶことを楽しむ
- ・身近な生き物に触れたり、世話をしたりして親しみをもつ
- ・水栽培に関心をもち、生長を楽しみにする
- ・金沢の伝統文化に触れ、興味関心を広げる
- ・教師や友達の話最後まで聞こうとする
- ・友達に自分の考えたことや感じたことを言葉で伝えながら遊ぶ
- ・自分なりにイメージをもち、様々な形で表現しようとする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎自分たちで大型構成遊具を持ち出して遊べるように、教師も一緒に運んで場づくりをしたり、友達と声をかけ合って運んでいる幼児を認めたりする
- ◎楽しい経験が広がるように、自分のイメージや思いを様々な方法で表そうとしている姿を認め、教師もアイデアを出したり、思いに共感したりする
- 遊びに必要な素材や遊具を必要ときに使えるように準備し、使いやすいように提示しておく
- ◎友達と思いのくい違いが見られるときには、相手の思いに気付かせるようにお互いの思いを伝え合うよう声を掛ける
- ◎遊びの中で必要なものを作ることができるように素材や材料を吟味し準備しておく
- ◎園庭の木々の葉が落ちる様子などを観察しながら、自然の移り変わりをもとに感じる
- 互いの遊びが見えるように、遊び同士がつながる空間構成を考え、配置する
- ◎5歳児の遊びの場に加わったりまねたりして遊びを広げようとしている幼児を認める
- ◎飼育当番後、遊びに参加できるように声を掛けたり遊びの様子を知らせたりする
- ◎秋の自然物を使って遊べるようにドングリに穴を開ける用具などを準備しておく
- 鍵盤ハーモニカに親しみをもつことができるように取り出しやすい場所に置いたり簡単な楽譜を用意したりしておく

家庭との連携・地域との連携

- ・防寒具の始末などが自分でできるように、使いやすい丈やかけひもの確認などをしてもらう
- ・秋の茶会での身支度（白い靴下や襟付きの洋服）について伝える
- ・学年懇談会（2学期の様子や幼児の学びについて、今後に向けての課題など）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・かぜの予防について知る
  - ・体重測定（自分や友達の体重の増減に興味をもち、進んでする）
- <食育>
  - ・教師や友達と一緒に旬の果物を採ったり、食べたりする楽しさやおいしさを味わう
  - ・友達や教師と一緒に茶会の雰囲気を感じながら茶を飲んだり、和菓子を食べたりする

意図的活動

- ・劇遊び
- ・楽器遊び 鍵盤ハーモニカ講師による指導
- ・球根植え、水栽培
- ・秋の自然物を使った製作
- ・秋の茶会に向けての活動（座り方、お辞儀の仕方の練習など）

行事など

- ・なかよしウィーク
- ・親子活動
- ・秋の茶会
- ・避難訓練
- ・体重測定

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「やまのごちそう」「もみじ」「たきび」
- ・絵本など・・・「ヒッコリーのきのこ」「ぼんたのじどうはんばいき」「ねずみのいもほり」
- ・紙芝居・・・「ももたろう」「おおきなかぶ」
- ・素材・・・工作用紙、爪楊枝、竹串
- ・用具・・・めうち、とび縄
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンスの球根、落ち葉、ドングリ、ススキ

幼児の姿

- ・クリスマスのつどいを楽しみにしながら練習に取り組み、自分なりに頑張ろうとしている
- ・クリスマスやもちつきなど、この時期ならではの行事を心待ちにしたり、喜んで参加したりしている
- ・気の合う友達と同じ遊びを繰り返しながらイメージを共有して遊ぶ姿が多くなる
- ・共通の体験を通して興味をもったことを伝え合いながら遊ぶ姿が見られる
- ・保育室で水栽培している球根の様子に目を向け、変化を楽しんでいる

ねらい

- ・クリスマスのつどいに向けて、友達と一緒に練習する
- ・友達と共通のイメージをもって遊ぶことを楽しむ
- ・身近な玩具や素材などを工夫して使ったり、作った物で遊んだりすることを楽しむ
- ・年末年始などの行事や冬の生活に興味関心をもつ

内容

- ・教師や友達と一緒に目的をもって活動する
- ・気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ
- ・友達と一緒に遊びに必要なものを準備したり、作ったりする
- ・身近な素材を工夫して使い、クリスマスの飾りを作る
- ・木々の様子や天候、風の冷たさなどを通して季節の移り変わりに気付く
- ・身近な生き物に触れ親しみ、興味をもったり世話をしたりする
- ・保育室を掃除したり、遊具を整頓したりする
- ・水栽培をしている球根の生長を楽しみにする
- ・クリスマスや正月などを楽しみにし、いろいろな活動に参加する
- ・絵本や物語などのお話に興味をもつ
- ・自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の思いにも気付き、受け入れようとする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎クリスマスのつどいに向けての活動を通して、友達と一緒に取り組む楽しさや充実感をもてるように、声を掛け合って練習している姿を認めたり必要に応じて教師も一緒に練習したりする
- ◎劇遊びにつながるように、ストーリーの展開や登場する人物がはっきりしているような絵本や紙芝居を準備する
- ◎作った物を使って遊ぶ楽しさに気付くことができるように、教師も一緒に参加して遊びに必要なものを作る
- ◎共通のイメージをもって遊べるように、一人一人がイメージや思いを様々な方法で表そうとしている姿を認めたり、共感したり、つなげたりしていく
- ◎相手の思いに気付けるように、言葉や掛けたり互いに思いを伝え合っている姿を認めたりする
- ◎楽しんで飾りを作ることができるように、型紙や光る素材やリボンなどを準備しておく
- 季節の移り変わりに気付けるように、町の様子や身近な自然の様子を話題として取り上げたり季節に応じた歌や絵本などを提示したりする
- ◎冬休みやお正月を楽しみにする気持ちを受け入れながら、規則正しい過ごし方やお手伝いの大切さなどを伝えていく
- 冬の健康的に過ごせるように、保育室の空気を入れ替える大切さを伝えながら、換気を心掛ける
- イメージした遊びができるようにきっかけとなるものや場を設定しておく

家庭との連携・地域との連携

- ・個別懇談（一人一人の2学期の遊びを通して学んでいることや今後の課題など）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・手洗い、うがいの大切さを知り、進んでする
  - ・保育室の換気の意味を知る
- <安全>
  - ・冬休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、雪道の歩き方、迷子に注意など）を聞き、守ろうとする気持ちをもつ
- <食育>
  - ・友達や教師と一緒に餅を食べる楽しさを味わう（もちつき体験）
  - ・ダイコンの収穫を楽しむとともに、ダイコンの部位の食べ比べをして、味の違いに関心をもつ

意図的活動

- ・劇遊び
- ・楽器遊び
- ・製作（クリスマスの飾り）
- ・クリスマスのつどいに向けての活動
- ・冬休みに向けての話し合い
- ・持ち物の整理整頓
- ・保育室の掃除や遊具の整頓

行事など

- ・もちつき
- ・クリスマスのつどい
- ・終業のつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「クリスマスがやってくる」「やったー！サンタがやってくる」「しずかなクリスマス」「赤鼻のトナカイ」「お正月」「ジングルベル」「クリスマスおめでとう」
- ・絵本など・・・「あのね、サンタのくにはね・・・」「おせちのおしょうがつ」「ぐりとぐらのいちねんかん」「おばあちゃんのおしょうがつ」
- ・紙芝居・・・「わらしべ長者」「すべてころんで」「ねずみのおもちつき」
- ・素材・・・光る素材、モール、毛糸やリボンなど
- ・用具・・・ホッチキス
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス

幼児の姿

- ・着替えや雪遊びの身支度など自分の身の回りのことを大体自分でできる
- ・今まで使い親しんできた遊具や素材などを工夫して遊びに取り入れ、使う姿が見られる
- ・カルタやトランプなどの遊びを通して、文字や数字などに興味関心をもつ幼児がいる
- ・友達のしていることに刺激を受けてやってみようとしている幼児が多い
- ・気の合う友達同士で自分の思いやイメージを伝え合いながら続けて遊ぶ姿が見られる
- ・のびのび表現会を楽しみにしながら、友達と一緒に劇や合奏などの練習に取り組んでいる
- ・雪が降ると積極的に園庭に出て、雪や氷などに触れて遊ぶことや、そり遊びなどを楽しむ姿が見られる

ねらい

- ・気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
- ・友達と一緒にいろいろな活動や遊びを楽しみ、興味や関心を広げる
- ・冬の自然に興味や関心をもち、雪や氷などに触れ親しんで遊ぶことを楽しむ

内容

- ・寒さに負けず体を十分に動かして遊ぶ
- ・遊びに応じた身支度を自分でする
- ・いろいろな遊びに興味をもち、取り組む
- ・気の合う友達と遊びながらイメージを共有しようとする
- ・いろいろな遊具や素材などを使い、遊びに必要なものを作って遊ぶ
- ・伝統的な行事（正月、節分）や伝承遊びに関心をもち遊ぶ
- ・風、雪あられなどに触れ親しんで遊ぶ中で、冷たさや寒さなどを体で感じ取る
- ・いろいろな雪遊びを楽しむ
- ・昔話や童話に親しみ、イメージを膨らませる
- ・文字や数量に関心をもって遊ぶ
- ・自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の思いを聞いたりする
- ・友達と一緒にのびのび表現会に向けての活動に取り組む
- ・友達とストーリーに沿って演じることを楽しむ
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、いろいろな楽器を演奏したりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎のびのび表現会に向けての活動を通して、皆で取り組む楽しさが味わえるように、また、一人一人が興味関心を広げたりできるように声掛けをする
- イメージを膨らませることができるように、ストーリーが分かりやすい昔話や童話の絵本や紙芝居を提示しておく
- ◎友達とイメージを共有できるように、状況に応じて教師が一人一人のイメージをつなげたり、新しいアイデアを提示したりする
- ◎いざこざが起きたときは、自分たちで解決していくことができるように見守ったり、互いの思いに気付くことができるよう声を掛けたりする
- イメージに合うものを作ることができるようにいろいろな素材を準備しておいたり、新しい素材を提示したりする
- 劇遊びの楽しさを味わえるように、身に付けることでその気になれるようなアイテムを準備したり場面合ったBGMを盛り込んだりする
- 落ち着いた場でカルタやトランプが楽しめるように、畳や低いテーブルなどを用意する
- 楽器に慣れ親しむことができるように、いろいろな楽器を自由に使えるようにしておく
- ◎いろいろな楽器を使って遊ぶ中で、正しい使い方を知らせていく
- ◎雪遊びの楽しさが味わえるように、天候や雪の状態に応じて計画を柔軟に変える

家庭との連携・地域との連携

- ・のびのび表現会に向けて、劇の衣装の準備をお願いする。合奏で、自分で楽器を選ぶことについてのお知らせをする
- ・のびのび表現会に向けての活動が続き、普段と生活の流れも異なることから負担に感じている幼児もいることを伝え、家庭ではゆったり過ごすように促す
- ・クリスマスのついでに配布した物を園でも使って遊ぶことができるように、記名をして持たせてもらう
- ・学年懇談会（3学期の見通し、のびのび表現会について、保健当番について など）

保健・安全・食育

- <保健>
- ・身体計測（自分や友達の身長や体重の変化を知り、進んでする）
- <安全>
- ・安全な雪遊びの仕方に気付く
- ・避難訓練（地震が起きたときの様子や、地震が起きたときの避難の方法を確認する、非常用リュックについて知る）

意図的活動

- ・生活グループ表づくり
- ・正月遊び
- ・雪遊び
- ・のびのび表現会に向けての活動
- ・豆まきのついでに向けての活動
- ・保健当番の引継ぎ式
- ・表現遊び（昔話）

行事など

- ・始業のついで
- ・避難訓練
- ・豆まきのついで
- ・身体計測

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「北風小僧の寒太郎」「えりまきこれっくらい」「雪」「まめまき」「おにのパンツ」
- ・絵本など・・・「100ぴきのくまさん」「ねずみのさかなつり」「おなかのなかにおにがいる」
- ・紙芝居・・・「ぞうさんのねんがじょう」「ばくだんのおまんじゅう」
- ・素材・・・輪ゴム
- ・用具・・・ホッチキス
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス、雪、氷、ダイコン

幼児の姿

- ・園庭に出て雪や氷の感触を楽しんだり、いろいろな雪遊びを楽しんだりする幼児もいる
- ・のびのび表現会に向けての活動を通して、友達と共通のイメージをもって活動することや自分なりに表現することを楽しんでいる
- ・のびのび表現会の5歳児の姿に憧れ、まねをして楽しむ姿が見られる
- ・ごっこ遊びを楽しむ幼児が多く、気の合う友達とイメージを共有して遊ぶことを楽しんでいる
- ・友達遊びに刺激を受け、自分の遊びに取り入れながら遊ぶことを楽しんでいる
- ・身近な遊具や素材などを工夫して遊びに取り入れて使う姿が見られる
- ・のびのび表現会で使った衣装や道具等を自分たちの遊びに取り入れて楽しむ姿が見られる
- ・友達とで同じものを食べることで、食材に関心をもったり、苦手だったものも食べてみようとしたりする姿が見られる

ねらい

- ・のびのび表現会を楽しみにし、友達と一緒に喜んで練習に取り組む
- ・気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ
- ・いろいろな遊具や素材などを使って遊ぶことを楽しむ
- ・季節の移り変わりに興味関心をもつ

内容

- ・寒さに負けず、体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ
- ・友達と一緒にのびのび表現会に向けての活動に積極的に参加する
- ・気の合う友達とイメージを共有して遊ぶと楽しいことを知る
- ・友達とイメージしたものになりきってやりとりをしたり、劇遊びをしたりすることを楽しむ
- ・いろいろな遊具や素材などを使い、遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ
- ・友達や教師と一緒に同じものを食べ、関心を広める
- ・天候や気温の変化に目を向け、季節の移り変わりに気付く
- ・修了式について知り、関心をもつ
- ・のびのび表現会を通して、言葉の面白さに気付く
- ・自分の思いを相手に分かるように伝えたり、相手の思いを聞き、受け入れようとしたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎のびのび表現会に向けての活動を通して、一人一人が興味関心を広げたり、皆で一つのものをつくり上げる楽しさや充実感を感じたりできるように声掛けをする
- ◎のびのび表現会の練習では、なりきってやりとりをする楽しさを感じられるように、教師自身がモデルとなり台詞の言い回しを伝えたり、体表現して見本を見せたりする
- 気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、時間や場所を保障する
- ◎友達とイメージを共有して遊ぶことができるように見守ったり、状況に応じて教師が一人一人のイメージをつなげたり、新しいアイデアを提示したりする
- ◎いざこざが起きたときは、自分達で解決しようとする姿を見守ったり、相手の思いにも気付き、受け入れたりすることができるように声を掛けたりする
- イメージしたものを作ることができるように、いろいろな素材や材料を準備しておく
- のびのび表現会で使った小道具や大道具などを自由に使えるように提示しておく
- ◎季節の移り変わりに気付くことができるように、幼児が発見した自然の変化や園庭の様子を話題として取り上げる
- 修了式のイメージがもてるように、DVDや写真などを見る機会を設ける

家庭との連携・地域との連携

- ・味噌汁昼食に向けて、椀、布巾などの準備を伝える

保健・安全・食育

- <保健>
- ・体重測定（1年間の自分の成長について考える）
- <食育>
- ・味噌汁に使う根菜類の野菜を触ったり見たりすることを通して、野菜に興味心をもったり、作ってくれた保護者の方に感謝の気持ちをもつ（味噌汁昼食）
- ・いろいろな野菜の食べ比べをして、味の違いに関心をもつ
- ・友達や教師と一緒に煮豆（大豆）を食べ、節分の豆まきを振り返る

意図的活動

- ・のびのび表現会に向けての活動
- ・のびのび表現会の再現遊び
- ・修了式に向けての活動
- ・絵画や粘土など（のびのび表現会）
- ・製作（雑飾り）
- ・味噌汁昼食

行事など

- ・のびのび表現会
- ・体重測定

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「まめまき」「コンコンクシャンのうた」「空より高く」「囀歌」「君も心の翼を広げて」
- ・絵本など・・・「ねずみのおいしやさま」「10びきのかえるのふゆごもり」「ふくはうち おにもうち」
- ・紙芝居・・・「おなかのなかにおにがいる」「まめろくとおに」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス、雪、氷

幼児の姿

- ・修了式や入園式に向けての活動を通して、進級することを楽しみにしたり、一人一人の幼児が自分なりに目的をもって生活したりしようとする
- ・気に入った遊びを繰り返す中で、友達同士の関わりを強めている幼児もいる
- ・入園したり進級したりしてくる友達のことを思い、保育室を整えたり、壁面を飾ったりしている
- ・修了式後、5歳児の保育室に興味をもち、様子を確かめに行ったり、5歳児がしていた遊びをしてみたりする幼児がいる
- ・気候の変化や園庭の草花の生長、園庭の隅に残る雪の質の違いなどに目を向け、春の訪れを感じている

ねらい

- ・進級することに喜びの気持ちをもつ
- ・修了式や入園式に向けての活動に意欲的に取り組もうとする
- ・気の合う友達と共通のイメージをもって遊ぶ
- ・身近な自然の変化に気付き、春の訪れを感じる

内容

- ・大まかな見通しをもって生活しようとする
- ・もうすぐ5歳児という自覚をもって生活する
- ・修了式に参加し、5歳児を祝う気持ちをもつ
- ・作品の整理をして1年間の思い出を振り返ったり、大きくなったことを実感したりする
- ・イメージしたものになりきり、ごっこ遊びを楽しむ
- ・気の合う友達とイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わう
- ・いろいろな遊具や素材などを組み合わせて使い、遊びに必要なものや場をつくって遊ぶ
- ・春を感じる製作物を作り、保育室などの壁面に飾る
- ・1年間過ごした保育室をきれいにする
- ・気候や気温の変化や園庭の動植物の変化に目を向け、春の訪れを感じ取る
- ・飼育物の様子に関心をもったり、餌やりなどの世話を進んでしたりする
- ・「おわかれのことば」や「おいわいのことば」を覚える
- ・1年間の思い出を話し合う
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎修了式や入園式に向けての活動などに進んで取り組めるように、もうすぐ5歳児になる喜びや期待感をもって行動している幼児の姿を受け止めたり認めたりする
- ◎感謝とお礼の気持ちをもって参加できるように、修了式は5歳児の修了を祝う会であることを伝える
- ◎「おわかれのことば」や「おいわいのことば」の練習では、言葉の意味を理解したり、語彙を広げたり、響きやリズムを感じたりできるように、言い換えたりモデルとなって示したりする
- 1年間にあったことを思い出し、成長を感じられるように話し合う場を設ける
- ◎友達とイメージを共有して遊ぶことができるように、見守ったり状況に応じて教師が一人一人のイメージをつなげたり、新しいアイデアを提示したりする
- 幼児が自分たちのイメージに合わせて、遊びに必要な場やものをイメージに合うものをつくることができるように、いろいろな素材などを準備しておく
- ◎幼児とともにいろいろな素材で春の自然物を作って飾り、室内を春らしい雰囲気にする
- ◎体で春の訪れを感じられるように、天候のよい日には積極的に戸外へ出ようとする幼児を認めている

家庭との連携・地域との連携

- ・個別懇談（1年間の成長の振り返り、今後の課題など）
- ・修了式の大切さや服装などについて知らせる

保健・安全・食育

- <安全>
  - ・春休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、交通安全など）を聞く
  - ・避難訓練（避難時の約束、避難の仕方を確認する）
- <食育>
  - ・友達や教師と一緒にひな菓子（金花糖等）を食べる

意図的活動

- ・修了式に向けての活動
- ・入園式に向けての活動
- ・作品整理
- ・製作（壁面掲示）
- ・持ち物の整理整頓
- ・保育室などの整理整頓、清掃

行事など

- ・修了式
- ・避難訓練
- ・終業のつどい
- ・離任式

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「うれしいひなまつり」「園歌」「空より高く」「ハローはすてきなごあいさつ」「きみたち今日から友達だ」「ダンゴムシもぞもぞ」「春の小川」
- ・絵本など・・・「はるのおともだち」「はだかのおうさま」インソップ
- ・紙芝居・・・「うぐいすのふえ」「こどものきらいなおおとこ」
- ・素材・・・和紙、フラワーペーパー、フラワーテープ、針金
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・

幼児の姿

- ・5歳児になった喜びを感じ、はりきって生活する幼児がいる。しかし中には、新しい担任や友達、保育室に戸惑ったり、不安な気持ちをもったりする幼児もいる
- ・自分の靴箱やロッカー、コートかけなどの場所を知り、自分の道具や衣服を片付ける姿が見られる
- ・朝のつどいや帰りのつどいなど、5歳児ならではの活動に興味をもち参加している
- ・昨年度から取り組んできた飼育物の世話や保健当番の仕事に興味をもち、はりきって取り組んでいる
- ・こいのぼりのつどいに向けて、はりきって係活動に取り組む姿が見られる

- ・3歳児や4歳児の友達に親しみの気持ちをもち、手助けをしたり、関わりうとしたりしている
- ・4歳児の時から関わりのある友達と一緒に遊んだり、4歳児のときにしていた遊びを再現して遊んだりする姿が見られる
- ・新しい遊具を使ったり、昨年度5歳児がしていた遊びをまねてやってみようとしたりする姿が見られる。しかし、遊びの場が広くなり、思うように使いこなすことができない幼児も多い
- ・初めての里山プロジェクトで、春の自然や田んぼとの関わりを楽しむ様子が見られる。身近な自然物に興味をもつ幼児が多くなる

ねらい

- ・年長組になったことを喜び、はりきって生活する
- ・3歳児や4歳児に親しみの気持ちをもち、関わる
- ・春の自然や身近な動植物に興味や関心をもって関わったり、遊びに取り入れたりする

内容

- ・朝のつどい、帰りのつどいに参加する
- ・生活予定表に関心をもつ
- ・入園式やこいのぼりのつどいの取り組みなどを通して5歳児としての自覚をもつ
- ・飼育物の世話や保健当番を進んで行う
- ・生活がしやすくなるよう、教師や友達と一緒に場を整えたり、必要なきまりや約束などを話し合っ決めて決める
- ・気の合う友達と一緒に遊ぶ
- ・教師や友達と同じイメージをもって活動する楽しさを知る
- ・自分なりにイメージをもって製作する
- ・学級で自分たちのこいのぼりを作る
- ・バスの利用の仕方を知る
- ・こいのぼりのつどいに参加し、司会を行ったり、こいのぼりを揚げたりする
- ・身近な素材や遊具を遊びに取り入れたり工夫して使ったりする
- ・春の自然に興味をもち、見たり、触れたり、遊びに取り入れたりする
- ・角間の里山に出掛けインストラクターの方とともに春の自然を楽しむ
- ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを聞いたりする
- ・学級全体の場での話し方や話の聞き方に気付く
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎安心して5歳児としての生活を送ることができるよう、不安を感じている幼児には一人一人の育ちを考慮して関わる
- 見通しをもつことができるよう、ホワイトボードに予定を書いておき、朝のつどいで1日の予定や当番などを確認する場をもつ
- ◎入園式やこいのぼりのつどいに向けての活動を通して、5歳児としての自覚をもてるようにする
- ◎生活の中での具体的な場面で、生活に必要なきまりや約束を新たに決めたり再確認したりする
- 遊具や用具の置き場所を相談して決めることができるように、遊具や用具を置くスペースを確保しておく
- 学級全体の場での話し方や聞き方に気付いたり、友達が何をしているか知ったりできるよう、朝のつどいや帰りのつどい、牛乳タイムのときに、楽しかったことや皆に知らせたいことなどを話すことができる場を設ける
- ◎自分の思いを相手に伝えようとしている姿を認め、伝わりにくいときには教師が仲立ちをして互いの思いが理解し合えるようにする
- ◎身近な自然に興味をもち、身近な自然物を遊びに取り入れたりすることができるよう、自然物を使って教師がともに遊ぶモデルとなったり、幼児の発想を広げたりする
- 春の草花や生き物に興味をもつことができるよう、絵本などを準備したり、幼児が見つけてきた動植物を提示することができる場を設定したりする
- ◎間違った言葉の使い方に気付いていけるようにその都度伝えていく

家庭との連携・地域との連携

- ・5歳児の生活の仕方を知らせたり、遊びの姿を伝えたりする。中でも不安を感じる保護者には、個別に幼児の園での姿を伝える
- ・キャンパス内の散歩に出かけ、幼稚園は附属学校の中に位置付いていることを伝える
- ・学年懇談会（本園の教育について、1年の見通し、学年目標、ねらいなど）
- ・非常用リュックを準備してもらう
- ・いしかわ自然学校インストラクターの方との打ち合わせを行い、幼児の現状や里山プロジェクトを通して育てたい力などについて、教師の思いを伝える

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・生活のリズムを整える
  - ・弁当後の歯みがきを進んでする
  - ・身体計測（自分の体に興味をもつ、計測の仕方を確認する）
- <安全>
  - ・遊具や用具などの安全な使い方を自分で考えて遊ぶ
- <食育>
  - ・箸を正しく使うように意識する

意図的活動

- ・生活のルールについての話し合い、確認
- ・朝のつどい、帰りのつどいについての話し合い
- ・キャンパス内散歩（4歳児と）
- ・入園式の練習
- ・こいのぼりのつどいに向けての活動（司会の練習、こいのぼりの製作など）
- ・里山プロジェクト（春の自然）

行事など

- ・始業のつどい
- ・入園式
- ・創立記念日
- ・こいのぼりのつどい
- ・身体計測

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」「小さないのち」「そらとべあおむしくん」「ハローはすてきなごあいさつ」「さんぽ」「こいのぼり」「緑のマーチ」
- ・絵本など・・・「ちいさなたんけんたい」「わんぱくだんのかくれんぼ」「たんぼぼ」
- ・紙芝居・・・「はるのおきやくさん」「どうしてこいのぼりあげるの」
- ・素材・・・布、段ボール
- ・用具・・・アクリル絵の具、むしめがね、段ボールカッター
- ・自然、栽培・・・チャボ、カメ、チューリップ、タンポポ、サクラ、ヨモギ
- ・その他・・・1枚のおたよりを畳んでおたよりばさみに挟む

幼児の姿

- ・生活予定表に関心をもち、1日の生活の見通しをもちながら生活し始める
- ・気の合う友達同士誘い合って一緒に遊ぶことを楽しんでいる
- ・友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいるが、思いや考えが違ってぶつかる姿も多く見られる
- ・友達をしている遊びを、自分の遊びに取り入れる幼児の姿が見られるようになる
- ・これまでに経験してきた簡単なルールのある遊びを皆と一緒に楽しもうとする
- ・チームゲームをすることを楽しみ、繰り返しやってみる

ねらい

- ・いろいろな遊びに興味や関心をもち、したい遊びを楽しむ
- ・友達や教師と一緒に遊んだり活動したりする楽しさを味わう
- ・いろいろな遊具や素材などに十分関わる
- ・春から初夏への自然の移り変わりや身近な動植物に興味をもち、自分たちの遊びに取り入れたり世話をしたりしようとする

内容

- ・生活予定表に関心をもち、1日の生活の見通しをもつ
- ・戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
- ・友達とイメージを共有して遊ぶと楽しいことを知る
- ・友達をしている遊びに興味をもち、してみる
- ・教師や学級の友達と簡単なゲームをして遊ぶ
- ・集団遊びのルールを理解し、友達と一緒に楽しむ
- ・生活の中のきまりの必要性を知る
- ・自分たちが遊びやすいようにルールをつくって遊ぶ
- ・いろいろな素材や遊具に触れ親しむ
- ・製作活動の中でいろいろな素材を使いながら、自分のイメージを表そうとする
- ・使い慣れた身近な素材や遊具を遊びに取り入れたり、工夫して使ったりする
- ・自分のイメージを身近な素材や遊具を使い、表しながら遊ぶ
- ・身近な草花や動植物に興味をもち、関わる
- ・草花の生長を楽しみにし、水をあげたり雑草を抜いたりして世話をする
- ・田植えの仕方を知り、自分たちが苗を植えたり友達に苗を渡したりする
- ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを聞いたりする
- ・学級全体の活動の中での話の聞き方や、話し方に気付き
- ・ペアの1年生と簡単なゲームをしたり、一緒に弁当を食べたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 1日の生活の流れが分かり、自分なりに見通しをもって生活することができるように、生活予定表に提示する
- 天候のよい日には、戸外での遊びに興味をもち、友達と誘い合って、自分たちの遊びの場を準備できるように、用具や道具を準備しておく
- ◎きまりの必要性やよさに気付き、自分たちで生活をよくすることができるよう、具体的な場面で、きまりを新たに決めたり再確認したりする
- ◎幼児同士をつないだり遊びの楽しさを伝えたりできるよう、教師も一緒に遊びながら、遊び方を示したり、幼児の工夫を認めたりする
- ◎生活の中で自分の思いを相手に伝えようとしている姿を認め、伝わりにくいときには教師が仲立ちをして互いの思いが理解し合えるようにする
- ◎園の周りの自然に目を向け、遊びに取り入れていけるように、声を掛けたり自然物を掲示したりする
- 稲作に興味をもつことができるよう、稲作についての本を読み聞かせたり、米の話をしたりする
- 自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりできるよう、朝のつどいや帰りのつどい、牛乳タイムのときに、楽しかったことやみんなに伝えたいことなどを話すことができる場を設ける
- ◎栽培物を植える前に苗や種に触れたり、図鑑を見たりしながら、栽培物への興味をもてるようにする
- 自分のイメージする物が作れるように素材の特性を知らせたり、素材や用具を提示したりする
- 安心して交流活動に取り組むことができるよう、年間を通じてペアになる児童・幼児を決めておく
- ◎1年生との交流活動で緊張や不安を感じている幼児には、教師が寄り添い安心して活動に取り組めるようにする

家庭との連携・地域との連携

- ・小学校生活に憧れや期待感をもてるように、小学校の運動会を見に行き応援する
- ・戸外での遊びが増え、運動服の汚れも激しくなるため、着替えの準備や汚れ物を入れるビニール袋などの準備をしてもらう
- ・里山メイトの方と連携し、活動内容や日程の調整を行う

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・手洗い、足洗い、汗の始末、うがいなど、生活に必要なことに自分で気付いてしようとする
  - ・視力検査・聴力検査・尿検査（自分の体の健康に関心をもつ）
  - ・内科検診（静かに検診を受ける。自分の体の健康に関心をもつ）
- <安全>
  - ・安全に気を付けて公道を歩く
  - ・避難訓練（避難放送を座って静かに聴く、避難時の3つの約束を確認する、「かしわぎコース」を確認する）
- <食育>
  - ・サツマイモなどの苗を畑で育て、野菜の生長に興味をもつ
  - ・里山で田植えをして米作りに興味をもつ

意図的活動

- ・簡単なルールのある遊び
- ・チームゲーム（ドッジボール）
- ・壁面製作（里山）
- ・野菜や花などの種まきや苗植え
- ・園外保育
- ・1年生との交流（弁当、じゃんけん列車）
- ・小学校の運動会見学
- ・里山プロジェクト（田植え）

行事など

- ・春の遠足（4歳と）
- ・避難訓練
- ・内科検診
- ・視力検査
- ・聴力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「おひさまパワー」「うたえパンパン」「手のひらを太陽に」「みどりのマーチ」
- ・絵本など・・・「やさいのたね」「ダンゴムシ」「宇宙旅行」「たべるのだいすき」「おこめができた」
- ・紙芝居・・・「ママにはないしょね」「おかえりつぼめさん」
- ・素材・・・紙粘土、磁石、針金、緩衝材
- ・用具・・・両面テープ
- ・自然、栽培・・・ダンゴムシ、アリ、オタマジャクシ、フジ、クローバー、シロツメクサ、パンジー、タンポポ、カラスノエンドウ、野菜の苗（サツマイモ、サトイモ）

幼児の姿

- ・わくわくワールドに向けての係活動などに積極的に取り組み、楽しみに待つ幼児が多いが、不安を感じる幼児もいる
- ・気の合う友達同士で同じ目的をもち、遊ぶことを楽しんでいる
- ・話し合いの場などで自分の思いを伝えようとする幼児が増えてくる
- ・グループ活動を通して、友達の思いを知ったり、自分の思いを伝えたりしながら、グループで一緒に活動することがどのようなことか分かるようになる
- ・グループでの話し合い活動などでは、思いの食い違いからいざこざも増えるが、自分たちで解決しようとする姿も見られるようになる
- ・いろいろな遊具や素材を工夫して使い遊びの場や遊びに必要な物を作っている
- ・自然物(砂、土、水、植物)の特性に気付き、自分たちの遊びに取り入れれようとしている
- ・里山での活動にも慣れ、楽しみにしたり、里山での体験を園で再現して遊んだりする幼児がいる
- ・1年生との交流活動では、久しぶりに1年生と会えることを喜んでいる姿も見られるが、まだまだ緊張したり戸惑ったりしている幼児も多い

ねらい

- ・自分なりに目的をもって、遊びや活動に取り組む
- ・友達や教師と一緒に考えを伝え合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・梅雨の自然や動植物の生長や変化に興味や関心をもつ

内容

- ・5歳児としての生活の仕方を身に付けながら、自分なりに見通しをもって生活する
- ・戸外での遊びに進んで参加し、戸外で過ごす楽しさを味わう
- ・状況に応じて、必要なきまりや約束などを話し合っ決めて
- ・グループの友達と一緒に、わくわくワールドに向けてのいろいろな活動に取り組む
- ・公共の施設での行動の仕方を知る
- ・身近な素材を遊びに取り入れれたり、工夫して使ったりする
- ・いろいろな素材に触れ親しむ
- ・七夕の由来を知り、短冊飾りを作る
- ・星や宇宙に興味をもつ
- ・梅雨の園庭や里山の自然に興味をもち、見たり、触れたり、調べたり、遊びに取り入れれたりする
- ・友達や教師の話を最後までしっかり聞く
- ・感じたことや考えたことを相手に分かるように話す
- ・自分の思いや考えを受け入れてもらえた嬉しさを味わう
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、踊ったりすることを楽しむ
- ・自分のイメージをかいいたりつくったりして表現する
- ・1年生からアサガオの苗をもらい、育て方を教えてもらう

環境の構成(○)と教師の援助(◎)

- ◎教師も積極的に戸外に出て、のびのびと遊ぶ心地よさを幼児とともに味わうようにする
- のびのびと安定した気持ちで生活できるように、時間や場の設定にゆとりをもたせる
- 教師も一緒に遊びながら、一人一人と絆をつくったり、幼児同士のつながりのきっかけをつくったりする
- ◎幼児が自信をもって行動できるよう、幼児なりに意欲をもって取り組む姿を認めたり励ましたりする
- ◎きまりの必要性やよさに気付き、自分たちで生活をよくすることができるよう、具体的な場面で、きまりを新たに決めたり再確認したりする
- ◎公共の施設の使い方が身に付くよう、マナーやルールについて伝え、幼児なりに意識して行動できるよう促す
- わくわくワールドに向けてより多様な体験ができるよう、幼児一人一人の育ちを考慮しそれぞれの発達課題や、ねらいに応じたグループ作りをする
- ◎里山で体験したことを再現して遊ぶことができるよう、再現して遊んでいる幼児の姿を広めたり、必要な用具を準備したりする
- 自分の思いを相手に伝えようとしている姿を認め、伝わりにくいときは、教師が仲立ちして互いの思いが理解し合えるように援助する
- よく使う道具や素材などは自分たちで出し入れしたり、使ったりしやすい場所に置いておく
- 幼児が興味をもち、不思議に感じたことや思ったことを自分たちで調べられるように、絵本や図鑑などを準備する
- ◎動植物の世話を積極的に行えるように、幼児のつぶやきや思いを聞きながら教師も一緒に関わるようにする
- 幼児一人一人の表現方法を大切に見守ったり、教師も一緒に表現活動をしたりして幼児のイメージがより膨らむようにする
- ベアの1年生に親しみがもてるよう、アサガオを渡すときにベア同士で話ができるような場所と時間を確保する
- ◎緊張や不安を感じている幼児には、教師が寄り添いながら一緒に話を聞いたり、1年生に5歳児が緊張していることを伝えることで1年生が関わり方を変えられるよう促したりする

家庭との連携・地域との連携

- ・日曜参観(平日に普段の様子を参観することができない家族に、園での幼児の姿を知ってもらう)
- ・着替え袋の中の衣服を夏用の衣服に替えてもらう
- ・わくわくワールドに向けて保護者に伝える  
参加するお父さんボランティアの方にねらいや活動などを伝える(日曜参観後)
- 父親の役割や係の仕事の分担を決める
- 保護者説明会ではわくわくワールドの概要やねらいを伝え、持ち物の準備を幼児と一緒にしてもらうなど協力を依頼する
- ・いしかわ自然学校インストラクターの方との打ち合わせを行い、幼児の現状や活動のねらいなどについて話し合う

保健・安全・食育

- <保健>
- ・雨に濡れたカバンやコート、泥で汚れた衣服などを自分で始末する
- ・少しでものどの渇きを感じたら、自分から進んで水分をとる(熱中症対策)
- ・身の回りを清潔に保ち、必要な習慣を身に付ける
- ・わくわくワールドに向けての健康・安全について考える(紙パンツ、アレルギー、生活リズムなど)
- ・体重測定(自分の体重の変化を知り、成長を喜ぶ)
- ・歯科検診、耳鼻科検診、眼科検診(自分の体の健康に関心をもつ)
- <安全>
- ・安全に気を付けて公道を歩く
- ・避難訓練(地震が起きたときの様子や、地震が起きたときの避難の方法を思い出す、緊急時お迎えの仕方を確認する)

意図的活動

- ・わくわくワールドに向けての活動(わくわくワールドごっこなど)
- ・チームゲーム(しっぽとり、フィールドビンゴなど)
- ・七夕のつどいに向けての活動
- ・製作(短冊、七夕飾り)
- ・1年生との交流(アサガオの種をもらう)
- ・里山プロジェクト(初夏の自然)

行事など

- ・日曜参観
- ・避難訓練
- ・プラネタリウム見学
- ・体重測定
- ・歯科検診
- ・耳鼻科検診
- ・眼科検診

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「にじ」「あめふり水族館」「翼をください」「遠き山に日は落ちて」「もえるよもえる」「手のひらを太陽に」「見あげてごらん夜の星を」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのはしれいちばんぼし」「ちいさなきいろいかさ」「ジャックと豆の木」「いつまでも」
- ・紙芝居・・・「とけいじいさんのとけい」「ふしぎなきゅうり」
- ・素材・・・モール、カラーひも、片面段ボール、フェルト、布
- ・用具・・・ボンド
- ・自然、栽培・・・カタツムリ、オタマジャクシ、カエル、テントウムシ、フジ、アジサイ、ツユクサ、ピーマン、キュウリ、ナス、トマト



幼児の姿

- ・わくわくワールドに参加し、いろいろな活動に意欲的に取り組み、自分なりに力を精一杯発揮している。また、家族から離れて過ごすことに不安を感じながらも頑張ろうとしている幼児がいる
- ・当番活動や係の仕事に自分なりに責任をもって取り組む幼児が多い
- ・リレー遊びでは、自分たちのチームが勝てるように応援したり、自分なりに一生懸命走ろうとしたりする姿が見られる
- ・気の合う友達同士で同じ目的をもち、遊ぶことを楽しんでいる
- ・話し合いの場などで自分の思いを伝えようとしていたり、友達の思いを聞こうとしたりしている
- ・プール遊びを楽しんでいる

- ・いろいろな遊具や素材、自然物を工夫して使いながら、遊びの場や遊びに必要な物を作ったり、自分のイメージを表現し共有したりしている
- ・栽培している野菜が実をつけたことに喜びを感じる幼児が多い。また、育てた野菜を調理する場面を見たり友達と一緒に味わったりすることで、野菜への苦手意識が薄れる幼児がいる
- ・夏の草花や生き物に興味をもち、名前や世話の仕方を図鑑で調べる幼児がいる
- ・稲の生長を楽しみにし、自分たちで作った楽器を鳴らしたり、掛け声を掛けたりすることを楽しみながら虫送りに参加する幼児が多い
- ・1年生との交流活動では、ペアの1年生に名前を呼んでもらったり、ペアの1年生の名前を覚えたりする姿が少しずつ見られるようになり、活動を楽しむ幼児が増えてくる

ねらい

- ・自分なりに目的をもって、遊びや活動に取り組む
- ・友達や教師と一緒に考えを出し合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・夏の自然に興味をもち、触れたり、遊びに取り入れたりする

内容

- ・友達と力を合わせて活動する
- ・気の合う友達とイメージを共有しながら遊ぶ
- ・友達と考えを出し合いながら遊ぶ
- ・プール遊びの約束を知り、約束を守りながらプール遊びを楽しむ
- ・いろいろな遊具や素材、自然物などに十分に関わり、その特性に気付く
- ・遊具や用具に親しみ、安全に気を付けながら工夫して遊ぶ
- ・いろいろな素材を工夫して使い、自分なりのイメージを表現する
- ・星や宇宙、夏の気象などに興味をもち
- ・夏の虫を捕まえたり、調べたりする
- ・虫送りの意味を知り、自分たちで楽器を作って参加する
- ・ペアの1年生と一緒に夏の遊びをすることを楽しむ
- ・自分の思いを相手に伝えたり、友達の考えを聞いたり受け入れたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり踊ったりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎他の幼児のモデルとなるよう、生活の中でその子なりに目的をもって取り組んでいる姿を認めたり、周りの幼児に広めたりする
- ◎楽しく安全に活動できるよう、プール遊びに関わるいろいろな約束事をその場を捉えて具体的に話す
- 自分たちで遊びを進める楽しさを感じることができるよう、考えを出し合う様子を認め、見守っていく
- ◎いざこざが起きたときには、自分たちで解決できるよう、自分の思いを相手に伝えられるように援助したり、友達の思いを聞くことができるように促したりする
- 夏の草花や生き物、天体、育てている野菜などに関する絵本や図鑑を準備したり、幼児が見つめてきた動植物を提示することができる場を設定したりする
- 楽器を作って虫送りを楽しむことができるよう、楽器作りの様々な素材を用意しておく
- 幼児が楽しかった遊びや出来事を伝え合い、興味関心を広げることができるような場を設定する
- ◎自分の思いが言葉で十分に伝わっていない場合には、思いを伝えようとする姿を認めながら、適切な言葉を教えたり仲立ちしたりする
- ◎幼児が自分のイメージを表現しやすいように、いろいろな素材や用具を使いやすい所に準備したり、一緒に表現活動を楽しんだりする
- 1年生との交流活動では、それぞれのグループが十分に夏の遊びを楽しむことができるよう、広い活動場所を確保する
- ◎それぞれが自分で楽しむ様子を受け止めながら、少しずつ1年生と幼児の関わりを促していく

家庭との連携・地域との連携

- ・プール遊びの準備をしてもらう
- ・学年懇談会（わくわくワールドへの取り組みの様子や当日の様子を伝える）
- ・個別懇談（一人一人のわくわくワールドへの取り組みの様子、生活と遊びの様子や変容を伝える）
- ・里山メイトの方と連携し、活動内容や日程の調整を行う

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・プール遊びの約束を確認する
  - ・手洗い、足洗い、汗の始末、うがい、水分補給など、生活に必要なことに自分で気付き、自分でする
  - ・生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が自分の体により影響があることに気付いたり、関心をもったりする
- <安全>
  - ・夏休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活をする、水の事故に注意する、知らない人について行かないなど）を聞く
  - ・避難訓練（不審者が園に現れたときの行動の仕方を確認する）
- <食育>
  - ・宿泊体験で、自分たちで捕まえたイワナを食べることを通して、生き物の命の尊さを知る
  - ・サツマイモなどの生長の様子に興味をもち、畑の草取りを行う

意図的活動

- ・七夕のつどいに向けての活動（歌、踊りなど）
- ・プール遊び
- ・絵画や粘土など（わくわくワールド）
- ・畑の草取り
- ・保育室や園庭などの整理整頓、清掃
- ・1年生との交流（夏の遊び）
- ・里山プロジェクト（虫送り）

行事など

- ・七夕のつどい
- ・わくわくワールド
- ・終業のつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「宇宙は楽しいフェスティバル」「だれかがほしを見ていた」
- ・絵本など・・・「あつちゃんのはたけ」「どうぶつえんのなつやすみ」「わんぱくだんのかいていたんけん」
- ・紙芝居・・・「ほしとりきつちよむさん」「たなばたさま」「おぼれたカップ」
- ・素材・・・折り紙
- ・用具・・・水彩絵具、筆、筆洗い用バケツ
- ・自然、栽培・・・カブトムシ、クワガタムシ、バッタ、クモ、セミ

幼児の姿

- ・2学期が始まり、友達や教師との再会を喜び、一緒に生活をしながら、園生活のリズムを取り戻している
- ・夏休みの体験を話し合ったり、遊びに取り入れたりして楽しむ幼児がいる
- ・戸外で思い切り体を動かして遊んだり、友達と一緒にリズム遊びやリレー遊びに取り組んだりすることを楽しんでいる
- ・のびのびフェスティバルの係について話し合い、自分たちで成功させようとする姿が見られる
- ・園庭で虫採りをしたり、秋の草花を摘んだりする姿が見られる
- ・稲の生長を喜び、稲刈りや稲架けを楽しむ

ねらい

- ・自分の思いを伝えながら、友達と一緒に活動する
- ・リレーなどで全力で走ったり、音楽に合わせてダイナミックに体を動かしたりする心地よさを味わう
- ・秋の自然に興味をもって関わり、触れたり遊びに取り入れれたりする

内容

- ・走ったり跳んだり、競ったりしながら、自分なりに運動する力を付けようとする
- ・全身で水に親しみながら、プール遊びを楽しむ
- ・友達と体を動かして遊ぶ楽しさを味わい、自分の力を発揮していく
- ・のびのびフェスティバルに向けて自分の力が発揮できる係を決め、係の仕事に取り組む
- ・遊び方やルールについて友達と一緒に考える
- ・様々な国旗に親しみを持ち、世界の国々に興味をもつ
- ・夏から秋への自然の変化に気付き、興味をもって見たり、関わったりする
- ・稲刈りの方法を知り、自分で稲を刈ったり、刈った稲を運んだりする
- ・いろいろな素材を工夫して使い、自分のイメージする物を作ることを楽しむ
- ・自分の考えを友達や教師に分かるように話したり、友達や教師の話をしっかり聞いたりする
- ・曲に合わせて友達と一緒にリズムカルに動いたり踊ったりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 十分に体を動かして遊ぶ心地よさを味わえるように、教師も一緒に楽しんだり、頑張っている姿を認めたりする
- ◎休憩時間を確保したり、手洗い・うがい・水分補給をするように促したりして、幼児の健康面に配慮する
- ◎のびのびフェスティバルに向けて、自分たちで成功させるという思いをもつことができるように、係を決めたり、練習に取り組んだりする
- ◎5歳児としての自覚が高まるよう、のびのびフェスティバルに向けて一人一役を担わせるようにする
- 友達との新たな関わりが生まれるよう、生活グループを編成する
- ◎自分たちで話し合い解決していくことができるよう、話を整理したり、焦点化したりする
- 自分たちが楽しめるようなリレーのルールについて話し合えるよう、自分の思いや考えを伝えやすい雰囲気をつくる
- 秋の自然に興味をもてるよう、絵本や音楽を準備する
- 幼児が虫や生き物の生態を調べることができるように、絵本や図鑑、虫めがねを置いておく
- ◎稲の収穫に期待感をもてるよう、稲の生長や田んぼの様子を知らせたり、稲刈りの方法を教えたりする
- 稲の生長の様子が分かるように、田んぼの写真を持ってきて見る機会を設ける
- ◎つどいや話し合いの場では、相手を意識した話し方をするように促したり、分かりやすい話し方を認めたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・汗ふきタオルや水分補給のための水筒を準備してもらう
- ・学年懇談会（2学期の見通し、のびのびフェスティバルに向けてなど）
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動が増えるため、十分に休養をとるよう伝える
- ・里山メイトの方と連携し、活動内容や日程調整を行う

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・目を大切にする（目をこすらない、暗いところで絵本を読まない、目の周りに物を近付けない）
  - ・身体計測（身長や体重の変化を知り、自分の生活を振り返る）
  - ・視力検査（正しく受ける）
- <安全>
  - ・避難訓練（「けやきコース」を再確認し園庭に素早く避難する、二次避難の方法を再確認する）
- <食育>
  - ・里山で育てた米を収穫する喜びを味わう（稲刈り）

意図的活動

- ・生活グループ表作り
- ・プール遊び
- ・運動遊び（リレー・踊り）
- ・製作（壁面、万国旗）
- ・のびのびフェスティバルに向けての活動（係の仕事を決める）
- ・里山プロジェクト（稲刈り）

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・身体計測
- ・視力検査

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「ワイワイうんどうかい」「パレード」「青い空に絵をかこう」「あきのバイオリン」「はしるのだいすき」
- ・絵本など・・・「こっきのほん」「とんぼのグライダー」「つきのうさぎ」
- ・紙芝居・・・「てんからおだんご」「つきみだんごとまほうのぼうし」
- ・素材・・・不織布
- ・用具・・・鉛筆
- ・自然、栽培・・・フジのつる、バッタ、カマキリ、ミミズ、オケラ、コオロギ、ヨウシュヤマゴボウ、アサガオのたね

幼児の姿

- ・リレー遊びでは勝敗を意識して、懸命に走ったり、大きな声で応援したりする姿が見られる
- ・のびのびフェスティバルの係の仕事や練習をそれぞれのグループに分かれて一生懸命にやっている姿が見られる
- ・サッカーやリレー遊びなどでは体を十分に動かしながら楽しんでいる
- ・リレーの作戦タイムなどを通して、考えを出し合いながら話し合いを進めていこうとするようになる
- ・年下児と関わる場面では、5歳児としての自覚をもち、活動をリードしようとしたり、優しく教えてあげようとする姿が見られる
- ・園庭の固定遊具と構成遊具を組み合わせ、迷路や基地などを作って遊ぶ姿が見られる
- ・園庭の草花や木の実を素材とし、ままごと遊びを楽しんでいる
- ・収穫した稲が米になる様子を、興味をもって見る姿が見られる
- ・サツマイモ畑の草取りや芋掘りでは、畑の変化に気付いたり、収穫を喜んだりする姿が見られる
- ・1年生との交流活動では、ペアの1年生の名前を覚えた幼児が増え、活動を楽しむにしている様子が多い。1年生に自分の考えを伝える姿も見られる

ねらい

- ・友達と一緒に取り組んだ活動の経験を生かし、共通のイメージや目的をもって活動する
- ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら活動する
- ・自然の変化に気付き興味や関心をもって見たり、身近な動植物に進んで関わったりする

内容

- ・いろいろな運動遊びに興味をもち、体を十分動かしたり、挑戦したりして遊ぶ
- ・のびのびフェスティバルに向けての練習や係活動に取り組む
- ・自分の力を精一杯発揮したり、友達と力を合わせて活動したりする
- ・年下児との関わりを通して、5歳児としての自覚を強める
- ・遊び方やルールについて気付いたことを話し合ったり、自分たちなりの新しいルールをつくったりする
- ・遊びに必要な物を自分で作り、利用する
- ・園庭の固定遊具や構成遊具などを工夫して組み合わせ、遊びの場を作ったり、遊び方を考えて遊んだりする
- ・秋の虫を捕まえたり、調べたりする
- ・秋の草花や木の実を使っていろいろな物を作ったり、遊んだりする
- ・脱穀について知り、いろいろな道具を使って自分たちで稲を杵と藁に分ける
- ・自分の考えを友達や教師に分かるように話す
- ・友達の話をしっかり聞き、思いを受け入れる
- ・ペアの1年生と一緒に秋の自然物を集めたり、それを使って遊んだりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎遊びに応じた場所の取り方や安全な行動の仕方について気付くよう、声を掛ける
- ◎5歳児としての自覚を高めることができるよう、のびのびフェスティバルに向けて一人一役に取り組めるようにする
- 幼児が必要に応じて使えるよう、バトン、ライン引き、リズム表現で使う物など、のびのびフェスティバルに関する用具の置き場所を決めておく
- 競い合うことの楽しさ、考えを出し合う面白さ、役立つ喜びを味わえるよう、リレーやリズム表現、係活動など様々な活動の機会を多くもつ
- ◎様々な活動の場で、自分たちでルールをつくることのできるように、必要に応じて教師も一緒に考えたり、互いの思いを確認したりする
- 自然物に自ら進んで関わることもできるように、園庭の草花や木の実を使っていろいろな遊びを工夫したり製作したりできる場を設ける
- 秋の自然に興味関心をもつことができるように、幼児が見つけてきた秋の自然物を紹介する場を設けたり、秋の自然物を飾るコーナーを作ったりする
- 稲の収穫を振り返ったり、稲の生長を感じたりすることができるよう、活動の写真や実際の米を提示しておく
- 1年生と一緒に遊んだ物を自分たちでも作って楽しむことができるよう、素材や用具を準備する
- 互いの力が発揮できるよう、5歳児と1年生と一緒に取り組めるような活動を設定する
- ◎5歳児も1年生と一緒に製作ができるよう、5歳児に1年生のしていることに挑戦できるよう声を掛けたり、1年生に5歳児のできることを伝えたりする

家庭との連携・地域との連携

- ・衣替え、着替え袋の中身の確認などについて、幼児が自分で保護者に伝えられるように声を掛ける
- ・のびのびフェスティバルに向けて頑張っている姿を伝え、家でも励ましてもらえるようにする
- ・里山メイトの方と連携し、活動内容や日程調整を行う

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・歯の大切さを知り、進んで歯をみがこうとする(永久歯を守るために歯みがきをする)
- <安全>
  - ・公道の歩き方や横断歩道の渡り方を確認する
- <食育>
  - ・自分たちで育てたサツマイモを収穫する喜びを味わう
  - ・脱穀を通して1粒の米の大切さを知る

意図的活動

- ・のびのびフェスティバルに向けての活動(競技、表現、係活動)
- ・絵画や粘土など(のびのびフェスティバル)
- ・サツマイモ掘り
- ・飼育当番の引継ぎ
- ・里山プロジェクト(脱穀)

行事など

- ・のびのびフェスティバル
- ・秋の遠足

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「パワフルパワー」「あきってすてきなおとがする」「虫のこえ」「はなさきやま」
- ・絵本など・・・「さつまいも」「さるかに」「はなさきやま」
- ・紙芝居・・・「カメレオンの王さま」「ばけくらべ」「ごへいとてっぽう」
- ・素材・・・段ボール
- ・用具・・・のこぎりカッター
- ・自然、栽培・・・ハツカダイコン、ドングリ、カキ、コオロギ、サツマイモ

幼児の姿

- ・目的や見通しをもって生活している
- ・一人一人が自分なりに自信をもって様々な活動に取り組むようになる
- ・気の合う友達と声を掛け合い、同じ目的をもって遊びこむ幼児が多くなる
- ・自分たちでルールを確認しながら遊ぶ姿が見られるようになる
- ・いろいろな人々と関わる中で刺激を受け、自分たちの生活に生かそうとしている
- ・今までの経験をもとに、遊びの中で生じたいざこざを幼児同士で解決し、遊びを続けるようになってくる
- ・年下児に親しみを持ち、自分たちの遊びに誘って一緒に遊ぶ姿が見られる
- ・道具や素材などの特性が分かり、遊びの中に取り入れようとする
- ・収穫した物を調理したり、食べたりすることを喜んでいる
- ・きりやめうちを使い、ドングリゴマや木の実アクセサリーなどを作って楽しんでいる
- ・落ち葉や木の実を拾い集めるなど、秋の里山の自然を楽しむ様子が見られ、今までより自分なりに目的をもって取り組もうとする幼児の姿が多く見られるようになる
- ・1年生との交流活動では、活動を楽しみにし、自分からペアの1年生に積極的に関わる姿も増え、小学校の教室での活動にも慣れた様子が見られる

ねらい

- ・目的や見通しをもって行動しようとする
- ・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら、一緒に遊びや活動を進めようとする
- ・いろいろな人々と関わり、生活経験を広げる
- ・身近な自然に親しみ、自分たちの生活に取り入れる

内容

- ・自分なりの目的や見通しをもって生活する
- ・友達と同じ目的をもち、繰り返し遊ぶことを楽しむ
- ・遊び方やルールについて気付いたことを話し合ったり、自分たちなりの新しいルールをつくったりする
- ・自分の考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりする
- ・役割分担しながら遊ぶ
- ・いろいろな人々と一緒に様々な活動に進んで参加する
- ・保護者と共に活動する
- ・様々な活動に興味関心をもって取り組む
- ・素材を選んで遊びに必要な物を工夫して作り、それらを使って遊ぶ楽しさを味わう
- ・秋の自然物を遊びの中に生かそうとする
- ・里山の秋の自然に興味をもち、いろいろな物に触れたり、集めたりする
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせてリズムカルに動いたりして遊ぶ
- ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう
- ・友達と一緒にいろいろな素材や用具を使って、イメージする物を作る
- ・水栽培をしたり、球根を植えたりして、植物の生長を楽しみにする
- ・1年生が考えた活動と一緒に楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- ◎他の幼児のモデルとなるよう、繰り返し遊んでいる姿や、友達と力を合わせてルールをつくったり変えたりしている姿、役割を分担している姿を認め、必要に応じて学級全体に広めていく
- ◎いざこざになったとき、幼児同士で解決していくことができるよう、事実内容を確認した後、判断を幼児に任せ見守る
- 5歳児としての自覚が高まるよう、年下児と一緒に活動したことを振り返ったり、自分たちの関わり方を評価し合ったりする場をもつ
- 興味関心を上げられるよう、いろいろな人々と一緒に活動する機会をもつ
- ◎相手意識をもって年下児と関わるができるよう、自分の思いを年下児にも伝わるように話したり、年下児の思いに気付いて受け入れたりしている姿を認めていく
- 工夫したり、試したり、挑戦したりできるよう、一輪車、大縄跳びなどの運動用具やキーボード、打楽器などの楽器を数量に留意して準備する
- 木工用具を使っているいろいろな遊びを工夫したり製作したりできるよう、木材や木の実などの材料を準備しておく
- ◎学級や学年での話し合いの場では、積極的に思いを表現しない幼児も、自分なりの言葉で表現できるよう機会を設け、思いを引き出したり、伝え方を知らせたりする
- ◎安心してペアの1年生と関わる姿を見守りながら、必要に応じて幼児の思いを代弁したり、1年生に5歳児が困っていることを伝えて解決を促したりする

家庭との連携・地域との連携

- ・秋の茶会の身支度（白靴下、襟付きの服）について伝える
- ・学年懇談会（2学期の様子や幼児の学びについて、今後に向けての課題など）
- ・いしかわ自然学校インストラクターの方との打ち合わせを行い、幼児の現状や活動のねらいなどについて話し合う

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・進んでかぜを予防する
  - ・体重測定（体重の変化から、自分の生活を振り返る）
- <食育>
  - ・自分たちでお茶をたてたり、お運びをしたり、茶や和菓子を味わったりする

意図的活動

- ・チームゲーム  
（ドッジボール、二人三脚など）
- ・なかよしウィークの活動
- ・秋の茶会に向けての活動  
（座り方、お辞儀の練習など）
- ・1年生との交流
- ・里山プロジェクト（秋の自然）

行事など

- ・なかよしウィーク
- ・親子活動
- ・秋の茶会
- ・避難訓練
- ・体重測定

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「まっかなあき」「山のごちそう」「大きな古時計」「実りの秋」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのロボットランド」「ともだちや」「てんぐのかくれみの」
- ・紙芝居・・・「はなをおったてんぐ」「らいおんのめがね」
- ・素材・・・木板、釘、たこ糸、ストロー
- ・用具・・・きり、めうち、のこぎり、かなづち、釘
- ・自然、栽培・・・ダイズ、ヒヤシンス、ドングリ

幼児の姿

- ・寒い中でも友達と一緒に身体を十分に動かす遊びを楽しむ
- ・クリスマスのつどいに向けて、自分なりに目的をもって練習に取り組む幼児が多い
- ・1日の生活の流れを考えたり、自分たちで遊びや生活の場を整えたりしながら生活している
- ・自分の思いを分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら生活する幼児が多い
- ・道具や素材などの特性が分かり、遊びに応じて選んでいる
- ・冬の自然やこの時期ならではの行事などに関心をもって関わったり取り組んだりする
- ・いろいろな生活経験などを生かして、自分たちで表現遊びや劇遊びを楽しむ姿が見られる
- ・いろいろな楽器を使って演奏したり、友達と一緒に合奏したりして楽しむ姿が見られる

ねらい

- ・共通の目的や生活の見通しをもって行動しようとする
- ・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら、一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・年末年始などの行事や活動に積極的に取り組む
- ・季節の移り変わりに気付き、興味や関心をもって見たり、自分たちの生活に取り入れようとしていく

内容

- ・冬の安全で健康的な過ごし方について話し合い、状況に応じて行動する
- ・生活の中でルールをつくったり変えたり、役割を考えたりしながら生活しようとする
- ・学年全体での取り組みを通して友達と楽しさを共有したり、達成感を感じたりする
- ・共通の目的に向けて、友達と協力したり工夫したりして遊びを進めることを楽しむ
- ・友達と一緒に遊ぶ中で生じた課題を自分たちで解決しながら、繰り返し遊ぶ
- ・遊具や用具の特性を生かし、安全に気を付けながら工夫して遊ぶ
- ・素材を選んで遊びに必要な物を工夫して作り、それらを使って遊ぶ楽しさを味わう
- ・水や風の冷たさや風景の変化を感じ、冬の訪れに気付く
- ・餅つきやクリスマスなどのつどいに参加する
- ・自分の考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりする
- ・いろいろな友達と思いを伝え合いながら一緒に遊ぶ
- ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて楽器を演奏したりすることを楽しむ
- ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 自分たちで見通しをもって生活できるように、月の大まかな予定を掲示する
- ◎行事などに向けて5歳児としての自覚が高まるように、意欲をもたせる言葉掛けをしたり、はりきって活動する姿を認めたりする
- ◎冬を健康的に過ごせるように、衣服の調節、手洗いやうがいの必要性を伝え、自分から進んで行えるようにしていく
- ◎いざござになったとき、幼児同士で解決することができるよう、事実内容を確認した後、判断を幼児に任せ見守る
- ◎自分たちで協力し課題解決しながら、遊びを進める楽しさを感じられるよう、繰り返し遊んでいる姿や友達と力を合わせてルールをつくったり変えたりしている姿、役割を分担している姿などを認め、必要に応じて学級全体に広める
- ◎イメージしたことを実現させながら遊ぶことができるよう、いろいろな素材や用具を自分で選んだり、必要な素材を教師に求めたりする姿を認めていく
- ◎学級や学年で過ごす中で、積極的に思いを表現しない幼児が、自分なりに思いを言葉で表現できるよう、機会を設けたり思いを引き出したりする。自ら表現できたときには、その姿を受け止め、自信をもって表現できるようにする
- いつでも気軽に楽器が使えるように準備する

家庭との連携・地域との連携

- ・クリスマスなどのつどいで日本の伝統遊びができる物をプレゼントし、家庭でも楽しんでもらうように伝える
- ・個別懇談（一人一人の2学期の様子、今後の課題など）

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・自分から進んで手洗い、うがいをする
  - ・保育室の換気を進んで行う
- <安全>
  - ・冬休みの過ごし方に関する話（規則正しい生活、雪道の歩き方、迷子に注意など）を聞き、守ろうとする気持ちをもつ
- <食育>
  - ・自分たちで収穫した米で餅つきをし、餅を味わって食べる（餅つき体験）

意図的活動

- ・クリスマスなどのつどいに向けての活動（歌、合奏など）
- ・製作（壁面、クリスマスの飾り）
- ・保育室や園庭などの整理整頓、清掃

行事など

- ・餅つき
- ・クリスマスなどのつどい
- ・終業のつどい

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「サンタが町にやってくる」「ヤッター！サンタがやってくる」「小さなトナカイ」「クリスマスおめでとう」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのクリスマス」「十二支のおはなし」「かさじぞう」
- ・紙芝居・・・「えほんのパーティ」「いちばんはじめのサンタクロース」
- ・素材・・・フジのつるのリース
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス

幼児の姿

- ・生活の見通しをもち、遊びや活動に積極的に取り組んでいる
- ・寒さに負けず、戸外でそり遊びや雪だるま作りなどを友達と一緒に楽しんでいる
- ・トランプやすごろく、百人一首などの正月遊びを自分たちで楽しめるようになる
- ・友達と一緒に好きな音楽に合わせて楽器を演奏することを楽しんでいる
- ・こま回しやお手玉などを繰り返し練習したり、挑戦したりする幼児が多くなる
- ・跳び箱、跳び縄、大縄跳びなどの運動遊びにも興味をもち、挑戦する姿が見られる
- ・のびのび表現会に向けて、自分の劇の役、合奏のパート練習や司会などしなければならぬことが分かり、取り組む姿が見られる
- ・水栽培の球根の生長を楽しみにし、水換えの世話をしている
- ・冬の里山で雪遊びを楽しんだり、冬の自然に興味をもって関わったりする姿が多く見られる

ねらい

- ・のびのび表現会に向けて、共通の目的や見通しをもって生活する
- ・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら一緒に遊びや活動を進める
- ・冬の自然現象や動植物に興味や関心をもち、自ら関わる

内容

- ・見通しをもって生活する
- ・寒さに負けず、友達と一緒に体を十分に動かす遊びを楽しむ
- ・生活の中でルールをつくったり変えたり役割を考えたりする
- ・共通の目的に向けて友達と協力したり工夫したりして遊びや活動を進める
- ・友達と一緒に遊びながら、遊び方を教え合ったりルールを守って遊んだりする
- ・友達と一緒に活動する中で生じた課題を話し合い、自分たちで解決しながら生活しようとする
- ・表現会に向けて、友達と一緒に劇づくりを楽しむ
- ・作った物を遊びや活動に利用する
- ・文字や数量などに関心をもち
- ・あられ、みぞれ、雪、氷などに興味をもち、見たり触ったりして遊ぶ
- ・節分の行事に興味をもち、枀を作ったり、追い払いたい鬼について考えたりする
- ・感じたことや考えたことを相手に分かるように話す
- ・友達や教師の話最後までしっかり聞く
- ・冬の里山の自然に興味をもち、冬芽探し、雪の崖登り、動物の足跡探しなどをして楽しむ
- ・素材や遊具を目的に合わせて使い、イメージを実現する
- ・表現会に向けて友達と一緒に歌を歌ったり合奏したりすることを楽しむ

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 自分たちで見通しをもち、生活を進めていくという考えをすることができるよう、1日の予定を幼児と相談する場をもつ
- ◎冬の自然を体で感じられるように戸外に出て遊ぶようにする
- ◎5歳児として頑張ろうという気持ちが盛り上がるよう、話し合いの場では意欲を受け止め進めていく
- ◎自分たちで劇をつくる楽しさを味わうことができるよう、これまでの経験を生かしてストーリーをつくったり、台詞を考えたりしながらつくり上げていくプロセスを大切にす
- ◎表現会に向けての劇や合奏の練習の中で、自分なりの表現をしたり、頑張っていたりする姿を全体の場で認める
- ◎いろいろな友達と共通の目的をもって遊ぶことができるように意図的にグループ編成をしたり、グループ単位の活動を取り入れたりする
- 遊びや生活の中のいざごこちに関しては、互いの考えを分かり合えるように、相互に十分話し合い解決できる場と時間をできるだけ保障する
- 遊びや活動の中で工夫している点や努力している姿を話し合いの場などで伝え合いながら、互いのよさを認め合える雰囲気をつくっていく
- 文字や数量などに興味や関心もてるような遊びを提示したり、遊具や用具などを準備したりする
- 各家庭で正月に遊んだ遊びやゲームなどを持ち寄ったり、園にあるいろいろな正月遊びを提示したりし、自由に使えるようにしておく

家庭との連携・地域との連携

- ・クリスマスのつどいで配布した、日本の伝承遊びができる物や各家庭で正月に遊んだ遊びやゲームなどを使って園でも遊ぶことができるように、記名をして持たせてもらう
- ・学年懇談会(3学期の見通し、のびのび表現会のねらいや取り組みについて、修了式の予定についてなど)
- ・保護者が附属小学校の入学説明会に参加できるように、延長保育を行う
- ・のびのび表現会に向けて、劇の衣装の準備について伝える
- ・のびのび表現会に向けての活動が続くので、家庭で十分に休息を取ってもらうように伝える
- ・いしかわ自然学校インストラクターの方と打ち合わせを行い幼児の育ちや活動でのねらいなどについて話し合い、互いの役割を確認する

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・身体計測(身長や体重の変化から、体の成長を知り、喜ぶ)
- <安全>
  - ・安全や雪遊びの仕方を考えて遊ぶ
  - ・避難訓練(地震が起きたときの様子や、地震が起きたときの避難の方法を確認する、非常用リュックのことを確認する)
- <食育>

意図的活動

- ・正月遊び
- ・雪遊び
- ・生活グループ作り
- ・表現会に向けての活動
- ・豆まきのつどいに向けての活動
- ・保健当番の引継ぎ式
- ・里山プロジェクト(冬の自然)

行事など

- ・始業のつどい
- ・避難訓練
- ・豆まきのつどい
- ・身体計測

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「カレンダーマーチ」「風も雪も友達だ」「ゆきのプレゼント」
- ・絵本など・・・「わんぱくだんのゆきまつり」「せつぷんだまめまきだ」「つるのおんがえし」
- ・紙芝居・・・「ねことねずみ」「ひとつがふたつ」「ハーメルンのふえふき」「おにがら」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス、雪、氷
- ・その他・・・数枚のおたよりを畳んでおたよりばさみに挟む

幼児の姿

- ・のびのび表現会に向けて、自分なりに目的をもち、はりきって取り組む姿が見られる
- ・のびのび表現会で、今まで練習してきたことを発揮し、達成感を得たことで自信につながった幼児も多い
- ・修了に向けてのお別れの言葉や歌の練習を通して、修了や入学を楽しみにして待つ姿が見られる。一方、小学校の生活に不安を感じる幼児もいる
- ・のびのび表現会に向けての取り組みを通して、いろいろな友達や集団に目を向け、友達のよさを見つけている姿が見られる
- ・晴れた日には寒さに負けず戸外で遊びを楽しむ幼児が多い
- ・氷を見つけ、手触りを楽しんだり、テラスに置いてその変化を見ようとしたりして、自然現象に興味を示している

ねらい

- ・共通の目的に向かって相談したり協力したりする中で自分の力を発揮する
- ・もうすぐ修了する自覚をもちいろいろな活動に取り組む
- ・冬から春にかけての自然現象や動植物に興味や関心をもち、自分から関わる

内容

- ・生活の流れが分かり、見通しをもって遊びや生活を進めようとする
- ・風邪の予防に関心をもち、手洗い・うがいを進んでする
- ・気候の変化を体で感じる
- ・自分の役割に責任をもって取り組む
- ・学年全体での取り組みを通して友達と喜びを共有したり、達成感を味わったりする
- ・修了式に向けての活動に積極的に取り組む
- ・劇づくりなどを通して体を使って表現することを楽しむ
- ・友達と相談してルールを決めて遊んだり、遊び方を教え合ったりする
- ・生活の中でルールをつくったり変えたりすること、役割を考えることで、生活をよりよくしようとする
- ・いろいろな友達との関わりの中で、相手の気持ちを受け入れる
- ・友達と一緒に活動する中で生じた課題を話し合い、自分たちで解決しながら生活する
- ・年下児と一緒に活動したり会食したりする場を設ける
- ・素材や遊具を目的に合わせて選び、工夫して使う
- ・文字や数量などに関心をもち
- ・あられ、みぞれ、雪、氷などに興味をもち、見たり触ったりして遊ぶ
- ・球根の生長を楽しみにする
- ・友達や教師の話を最後までしっかり聞く
- ・感じたことや考えたことを相手に分かるように話す
- ・表現会に向けて友達と一緒に歌を歌ったり合奏をしたりする

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 遊びや活動に見通しをもち、自分から行動できるように修了式までの主な予定を提示しておく
- 気温の変化を体で感じ、気温に応じて衣服の調節ができるよう声を掛け、自分で考え着脱している姿を認め広めていく
- のびのび表現会に向けての活動をする場や時間を保証する
- 共通の目的をもって活動することができるように、グループの中で考えたり、工夫したりできる場や時間を保障する
- ◎友達と一緒に活動する楽しさを味わうことができるよう、劇や合奏の練習などに積極的に取り組む姿を認めたり、励ましたりする
- いろいろな友達のよさに気付くことができるよう、それぞれの表現を見合い、話し合う場を設ける
- ◎春に向けて、気候の変化に関心をもちることができるよう、つどいの場などで水栽培や自然現象のことを話題に取り上げていく
- ◎文字や数量などに関心がもてるように、カレンダーや予定表などを使って話をしていく

家庭との連携・地域との連携

- ・修了式について学年だよりで伝える
- ・手作り昼食に向けて、身支度や持ち物を確認する

保健・安全・食育

- <保健>
  - ・体重測定（大きく成長したことを知り、これからの成長に期待をもつ）
  - ・足がたをとったり、これまでの自分の足がたを見たりすることで、自分の体の成長や変化に気付く
- <安全>
- <食育>
  - ・友達と協力して収穫物などを楽しみながら調理したり、友達や教師と一緒に味わいながら食べたりする（手作り昼食）
  - ・煮豆（ダイズ）の豆の変化に気付き食材に興味をもつ

意図的活動

- ・のびのび表現会に向けての活動
- ・修了式に向けての活動
- ・絵画や粘土等（のびのび表現会）
- ・手作り昼食

行事など

- ・のびのび表現会
- ・足がたとり
- ・体重測定

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「空より高く」「はじめのいっば」「ドキドキドン一年生」「さよならぼくたちのようちえん」「おもいでアルバム」
- ・絵本など・・・「てぶくろをかいに」「くまのこうちようせんせい」「はじめてのがっこうたんけん」
- ・紙芝居・・・「ゆきのこうま」「ないたあかおに」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・ヒヤシンス、雪、氷

幼児の姿

- ・修了に向けてのいろいろな活動をする中で、修了や入学を楽しみにする姿が見られる
- ・生活の中で、友達のをさを認め合いながら、協力し合い、共通の目的をもって取り組もうとしている
- ・今まで経験してきたいろいろなことを自分たちの力でやり、生活に生かしている
- ・幼稚園生活を振り返り、自分なりの充実感や保護者に感謝の気持ちをもっている姿が見られる

ねらい

- ・もうすぐ修了する自覚をもち生活を進めていく
- ・自分なりの目的をもって修了式に参加する
- ・友達のをさを認め合い、いろいろな友達と共通の目的をもって生活する
- ・自分の力で行動する充実感を味わう

内容

- ・生活の流れが分かり、見通しをもって活動を進める
- ・入学への喜びや期待をもつ
- ・自分の力を十分に発揮し、友達と協力したり工夫したりして生活を進める
- ・修了式に向けての活動を通して、友達のをさに気付き、まねようとする
- ・いろいろな友達との関わりの中で、相手の気持ちを受け入れる
- ・保護者やお世話になった人たちへの感謝の気持ちをもち、伝える
- ・修了式や修了式に向けての活動に積極的に取り組む
- ・自分たちの生活の場を皆で協力して片付けたり掃除したりする
- ・皆で一つのことをやり遂げた充実感を味わう
- ・修了式に向けて友達と一緒に歌を歌ったり、お別れの言葉を言ったりする
- ・文字や数量などに関心をもつ
- ・友達や教師の話を最後までしっかり聞く
- ・園生活を振り返り、思い出に残ったことを話し合う

環境の構成 (○) と教師の援助 (◎)

- 見通しをもって生活を進めていくことができるよう、修了式までの日数や予定を目に触れやすい場所に提示しておく
- ◎幼児が修了の意味や目的を知り意欲的に取り組むことができるよう、具体的な場面で励ましたり認めたりする
- 残り少ない園生活を皆で楽しんで生活できるよう、明るく和やかな雰囲気をつくる
- ◎友達との関わりの中で、自分を発揮したり友達のをさに気付いたりできるよう、振り返る場を設けたりのをを広めたりしていく
- ◎安心して小学校生活に向かうことができるよう、期待感をもって行動している幼児や不安に感じている幼児の姿をしっかり受け止め、認めていく
- 園生活を振り返り自分なりの充実感をもてるよう、今まで取り組んできた活動の様子（写真など）を提示しておく
- 文字や数量などに関心をもてるように、保育室内に掲示してある予定表やお別れの言葉などを意識できる声掛けをする
- ◎幼児の感謝の気持ちが表わせるよう今までのことを振り返りながら、お別れの言葉を考えるようにする
- 一人一人が自分の力を十分に発揮しながら歌を歌ったり、合奏したり、お別れの言葉を言ったりできるように、場や時間を保障する

家庭との連携・地域との連携

- ・個別懇談（1年間の成長の振り返り、小学校に向けて配慮する点や課題など）
- ・修了式の参加の仕方や当日の動きについて、事前に知らせる
- ・幼小連絡会を設定し、幼児が入学後、安心して自分らしさを発揮できるよう、一人一人のをさや配慮する点を伝える

保健・安全・食育

- <保健>
- <安全>
- ・修了式後の過ごし方に関する話（規則正しい生活、交通安全など）を聞く
- ・安心して安全に小学校へ通学できるよう、保護者と一緒に練習する
- <食育>
- ・友達や教師と一緒にひな菓子（金花糖など）を食べる

意図的活動

- ・修了式に向けての活動
- ・保育室などの整理整頓、清掃
- ・保護者やお世話になった人達へのプレゼント作り

行事など

- ・修了式

補助資料

- ・歌、手遊びなど・・・「園歌」「空より高く」「こころのねっこ」「一年生になったら」
- ・絵本など・・・「ぼくは一ねんせいだぞ!」「いちねんせいのいちにち」「いもほり藤五郎」
- ・紙芝居・・・「もうすぐ一年生」「うぐいすひめ」「いなかのねずみとまちのねずみ」
- ・素材・・・
- ・用具・・・
- ・自然、栽培・・・



## 接続期カリキュラム(試案)

接続前期.....	54
接続後期.....	55

月	10月～	1月～修了式
期	友達とのつながりを感じながら活動する中で自信をもち、自分の力を十分に発揮していく時期	友達と共通の目的をもち、協同して生活を進めていく時期
生活する力	・見通しをもって、自分で生活を進めていこうとする	・自分のことは自分で行い、見通しをもって生活を進めていく
育てたい力	・友達と話し合いながら遊びや生活を進めていく中で、自分とは違う考えに気付いたり、思いを共有したりする	・友達と意思を共有し、工夫したり試行錯誤したりしながら、共通の目的に向かって協力する
学びに向かう力	・いろいろなことに自分から働きかける	・友達の気持ちを考えたり、自分の気持ちに折り合いをつけたりしながら生活する
ねらい	・友達と話し合ったり力を合わせたりしながら、一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう ・5歳児としての自覚を高め、自信をもって行動する	・友達よさを認め合い、いろいろな友達と共通の目的をもって生活する ・共通の目的に向かって相談したり協力したりする中で、自分の力を発揮する
内容	・自分なりに見通しをもって生活する ・友達と一緒に遊ぶ中で生じた課題を自分たちで解決しながら、繰り返し遊ぶ ・ルールをつくったり変えたり、役割を考えたりしながら生活しようとする ・自分の考えを相手に分かるように伝えたり、友達の思いを受け入れたりする ・学年全体での取り組みを通して、友達と楽しさを共有したり、達成感を得たりする	・生活の流れが分かり、見通しをもって活動を進める ・友達と一緒に遊んだり活動したりする中で生じた課題を自分たちで解決しながら生活しようとする ・生活の中でルールをつくったり変えたりすること、役割を考えることで生活をよりよくしようとする ・友達や教師の話をしっかりと聞き、感じたことや考えたことを相手に分かるように話す ・入学への喜びや期待をもつ
環境の構成のポイント	○自分たちで見通しをもって行動できるよう、月の大まかな予定を提示したり、生活予定表を活用したりしていく ○遊びや活動の中で工夫している点や努力している点を話し合いの場などで伝え合いながら、互いのよさを認め合える雰囲気をつくっていく ○文字や数値などに興味や関心をもてるような遊びを提示したり、遊具や用具などを準備したりする	○自分たちで見通しをもち、生活を進めていくということが考えられるよう、一日の予定を教師と共に相談する場をもつ
教師の援助のポイント	◎5歳児としての自覚が高まるよう、行事などに向け意欲をもたせせる言葉掛けをしたり、はりきって活動する姿を認めたりする ◎自分たちで協力し課題解決しながら遊びを進める楽しさを感じられるよう、友達とルールをつくり変えたり役割を分担したりしている姿を認め、広めていく ◎様々な活動の場で自分達でルールをつくることのできるように、必要に応じて教師も一緒に考えたり、互いの思いを確認したりする	◎いろいろな友達と共通の目的をもって遊ぶことができるよう、意図的に生活グループを編成したり、グループ単位の活動を取り入れたりする ◎遊びや生活の中でのいざこざでは、互いの考えを分かり合えるように十分に話し合い解決できる場と時間をとるだけ保障する ◎友達との関わりの中で、自分を発現したり友達の良さに気付いたりできるよう、振り返る場を設けたり良さを広めたりしていく
家庭との連携	◎いざこざになった時、幼児同士で解決していくことができるように、事実内容を確認した後、判断を幼児に任せ見守る (※見守る…側で幼児の様子を見取りながら、必要に応じて関わること)	◎見守る…側で幼児の様子を見取りながら、必要に応じて関わること)
家庭との連携	・就学時検診をきっかけとして小学校生活との違いを伝え、自分の持ち物を自分で準備したり、バスに乗って登園したりすることに取り組むようなど、少しずつ就学に向けて意識することが できるようにする	・個別懇談などで1年間の成長を振り返ると共に、小学校生活に向けて配慮する点や課題などを伝えていく

環境の構成と教師の援助の関係性	環境に教育的意図を込め 意図的に子供達に任せ 後から子供達だけで展開した内容を見取り 必要な援助を判断する (堀越, 2017)
「生活する力」	◆身の回りのことを自分で行い、自分なりの見通しを持って、集団の中で主体的に生活する力
「関わる力」	◆ひと・もの・ことと主体的・相互的に関わり、自らの価値観を変容させていく力
「学びに向かう力」	◆好奇心・探究心・自己調整力など個の心情・意欲・態度に関する力

月	入学式～4月下旬	～5月中旬	～7月
期	新しい環境に慣れる時期	学習に意欲的に取り組んでいく時期	これまでの経験を生かし、安心して学校生活を送っていく時期
育てたい力	生活する力	生活の見通しをもち、身の回りの整理整頓をする	学校生活に慣れ、安心して生活する
	関わる力	自分以外の人の考えを受け入れたり参考にしたりする 関わりのある教師に親しみをもつ	クラスの友達と思いを伝え合いながら生活する
	学びに向かう力	新しい環境での生活に期待感をもち、楽しむ	学習内容が身に付いていく楽しさを感じ、意欲的に学ぶ
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の生活環境に慣れる</li> <li>・担任やクラスの友達を知り、親しみをもつ</li> <li>・学習活動に興味や関心をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の見通しをもつて行動する</li> <li>・気の合う友達と関わりながら、人間関係を広げていく</li> <li>・学習活動に興味や関心をもつて取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で判断して行動する</li> <li>・友達と思いや考えを伝え合う</li> <li>・学習活動を通して、分かるようになることに喜びを感じる</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室や保健室、トイレ等の場所、自分の使用するものの位置や使い方を知る</li> <li>・安全な歩き方やバスマナーなどを知り、登下校の仕方を覚える</li> <li>・自ら進んで身の回りの整理や整頓をする</li> <li>・担任やクラスの友達の顔と名前を知り、話しかけたりする</li> <li>・教師の語に関心をもって聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活の流れを理解し、見通しをもつて生活する</li> <li>・音楽室や体育館などへの移動の仕方を覚える</li> <li>・クラスに気の合う友達ができたり、新しい友達をつくったりする</li> <li>・自分の思いを自分の言葉で相手に伝える</li> <li>・当番や係活動に取り組む</li> <li>・分らないことや困ったことを教師や友達に尋ねる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の見通しをもち、安心して生活する</li> <li>・授業時間と休み時間の区別をつけて行動する</li> <li>・分かったりできたりするようになったりする喜びを感じ、自信をもつて何事にも取り組む</li> <li>・友達と同じ目的をもち協力して活動する</li> <li>・いざござになったときに、教師と一緒に友達と話し合っ解決する</li> </ul>
環境の構成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境で安心して生活することができるように、1日の過ごし方が日によって変わらないようにし、生活のリズムを掴みやすくなる</li> <li>○幼児期の生活から徐々に小学校生活に移行していくことができるように、時間の使い方を工夫する(のびのび・わくわく・きらきらタイム)</li> <li>○指示を出したり黒板を見て考えさせたりする時には、文字の理解の個人差に配慮し、視覚教材も使用する</li> <li>○安心して生活することができるように、机の配置や床に座って集うスペースの確保など幼児期の生活を踏まえた環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間関係を広げていく機会となるよう、隣同士やグループなどで児童同士が関わりをもつことができるよう活動を設定する</li> <li>○今までの経験を生かして取り組むことができるよう、児童の実態に応じた当番や係活動を設定する</li> <li>○学習内容に興味をもつことができるよう、児童の生活経験から学習内容を構成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入学当初と比べ自分の成長を確認できるよう、1学期の生活を振り返る機会を設ける</li> <li>○自分の思いを相手に伝えたり、友達の意見を聞いたりできよう、自己表現の場を増やしていく</li> <li>○自分の作業に集中したり、友達と協力して活動に取り組みんだりすることができるよう、授業内容に応じて机や教室の使い方を整える</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     のびのびタイム コミュニケーション活動の時間 わくわくタイム 生活科を中心とした総合的時間 きらきらタイム 教科等の時間                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1日の予定や自分のすべきことが見て分かるよう、文字を少なくして絵や記号を使ったり、掲示物を少なくして見やすい環境をつくったりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今までの経験を生かして当番や係活動に取り組むことができるよう、どんなことをしてきたかを原童に尋ね把握する</li> <li>○学習活動に興味をもち楽しんで学ぶことができるよう、分かったりできたりする実感をもつことができるよう声かけを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いざござを児童が話し合い解決していくことができるよう、話し合う機会を設け必要に応じて問題を整理したり焦点化したりする</li> </ul>
教師の援助のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任やクラスの友達の名前や顔を覚えて自ら関わることをできるよう、名前を呼ぶ機会を多く設ける</li> <li>○児童の様子を把握し、不安や心配から安心して自分の思いを相手に伝えることができる児童には、教師が言葉を補ったり、思いを引き出したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心して教師と関わることをできるよう、児童と個別に関わる時は姿勢を低くし、視線を合わせて話す</li> <li>○指示を理解し自ら行動することができるよう、口頭で指示を出す時は短く分かりやすくする</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年だよりなどで生活の様子や学習活動の様子を伝えることに加え、連絡帳を活用して児童の様子を保護者と伝え合う</li> </ul>		